

横浜みどりアップ計画の推進について

横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）については、平成21年度から5か年の取組として、横浜みどり税を財源として積極的に活用し、施策・事業を進めております。

横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の平成24年度の事業・取組の進捗状況、平成26年度以降の緑施策展開に向けた取組について報告します。

1 平成24年度の事業・取組の進捗状況について（8月末時点）

【平成24年度事業目標及び進捗状況〔8月末時点〕（別紙1）】

2 平成26年度以降の緑施策展開に向けた取組について

【平成26年度以降の緑施策展開に向けた取組について（別紙2-1）】

【横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）推進の状況（別紙2-2）】

【「横浜の緑に関する市民意識調査（速報値）」について（別紙3）】

【「横浜の緑に関する土地所有者意識調査（速報値）」について（別紙4）】

横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）
平成 24 年度事業目標及び進捗状況〔8 月末時点〕

1 平成 24 年度事業目標及び進捗状況について

(1) 樹林地を守る

【凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
 ◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

施策方針/事業・取組	平成 24 年度事業費 [百万円]		平成 24 年度 事業目標	進捗状況 (平成24年8月末時点)	
	総額	横浜 みどり税 充当額			
継続保有の促進					
1	・緑地保全制度等の拡充	-	(-)	・制度案策定	・制度案について検討 ・調整中
2	・篤志の奨励制度	-	(-)	・推進	・推進中
維持管理推進					
3	◎緑地再生等管理事業	713	(569)	・緑地再生管理 ：205ha ・樹林地維持管理助成 ・危険斜面整備	・市民の森・ふれあいの樹林等の管理作業 ：39.5ha ・前期助成金交付受付 ：58 件 ・施工済み：1 箇所 ・施工中：2 箇所 ・設計中：10 箇所
4	◎市民協働による緑地維持管理事業	20	(19)	・推進	・保全管理計画策定中 (荒井沢市民の森等 5 箇所)
5	●森づくりリーダー等育成事業	3	(3)	・森づくりボランティア育成：55 人 ・森づくりリーダー育成：5 人 ・はまレンジャー育成：5 人	・研修会等を準備中 ・研修会等を準備中 ・研修会等を準備中
6	●樹林地管理団体活動助成事業	8	(8)	・愛護団体活動支援：25 団体 ・森づくりボランティア活動支援：19 団体	・助成金交付：1 団体 ・道具の貸出：実施に向け調整中 ・道具の貸出：実施に向け調整中

施策方針/事業・取組		平成 24 年度事業費 [百万円]		平成 24 年度 事業目標	進捗状況 (平成 24 年 8 月末時点)
		総額	横浜 みどり税 充当額		
利活用促進					
7	●森の楽しみづくり事業	38	(38)	<ul style="list-style-type: none"> ・景観の森・生き物の森事業：5ha ・森の中のプレイパーク事業：1箇所 ・森の収穫物体験事業：4回 ・里山ライフ体験事業：4回 ・健康の森事業：18回 ・横浜の森の自然・生き物情報発信事業：推進 ・間伐材活用クラフト作成事業：推進 ・森の恵み塾事業：3拠点で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施に向け調整中（三保市民の森） ・5回実施（84人） ・4回実施（141人） ・3回実施（34人） ・3回実施（112人） ・ガイドマップ作成中（三保市民の森等3地域） ・7回実施（369人） ・市内各所で35回実施（1,719人）
8	●みどりの夢かなえます事業	9	(9)	・助成団体：3件	・事業化決定：4件
9	◎間伐材資源循環事業	10	(9)	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐材作業チップ化作業支援：40回 ・間伐材利活用方法の検討：推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・申込み受付中 ・間伐材利活用方法検討中
10	◇愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業	20	(-)	<ul style="list-style-type: none"> ・設計：1箇所 ・整備：2箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計に向け調整中（鴨居原市民の森） ・整備済み：1箇所（新治市民の森）
11	◇ウェルカムセンター整備事業	35	(-)	<ul style="list-style-type: none"> ・設計：2箇所 ・展示設置等：2箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計に向け調整中（寺家・四季の家、舞岡・虹の家） ・展示設置済み：1箇所（自然観察センター） ・設計中：1箇所（にいほる里山交流センター）
確実な担保					
12	◎特別緑地保全地区指定等拡充事業	11,522	(1,389)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定面積：309.9ha ・買取り対応予定面積：約42ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規指定面積：15.5ha ・買取り対応：9.6ha
13	・よこはま協働の森基金制度の見直し	-	(-)	・制度運用	・制度運用中
14	・国への制度要望	-	(-)	・推進	・6月、8月に実施

(2) 農地を守る

【凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

施策方針/事業・取組		平成24年度事業費 [百万円]		平成24年度 事業目標	進捗状況 (平成24年8月末時点)
		総額	横浜 みどり税 充当額		
継続保有の促進					
15	・生産緑地制度の活用	-	(-)	・制度運用	・都市計画変更手続き中 ：7件、3,359㎡ (うち指定基準の 緩和による指定 ：2件、1,924㎡)
16	●農園付公園整備事業	322	(113)	・用地確保：2.0ha ・基本・実施設計 ・施設整備：2.2ha	・用地確保：0.3ha ・基本・実施設計実施中
17	◇特定農業用施設保全事業（農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減）	2	(-)	・制度運用	・事前受付：34件 ・8月に予備審査会開催
農業振興					
18	◇共同直売所の設置支援事業	31	(-)	・備品等購入助成	・相談：2件
19	●収穫体験農園の開設支援事業	72	(72)	・収穫体験農園整備 ：6.0ha	・事業決定 ：2.7ha（17箇所）
20	●食と農との連携事業	8	(8)	・地産地消の連携の 取組：5件	・実施済み：2件
21	◇施設の省エネルギー化推進事業	54	(-)	・温室内多層カーテン 等設置助成：3.0ha	・事業決定 ：3.6ha（54件）
22	◇生産用機械のリース方式による導入事業	46	(-)	・生産用機械の導入 助成：25件	・事業決定：26件
農地保全					
23	◇集团的農地の維持管理奨励事業	30	(-)	・支援対象面積 ：640ha	①集团的農地保全団体 支援事業 ：実施承認645.9ha (49団体) ②公益施設維持管理奨 励事業 ：実施承認43団体 ③農の散歩道育成事業 ：実施承認4団体 ④集团的農地維持管理 補助事業 ：補助交付決定1地区
24	●水田保全契約奨励事業	35	(35)	・水田保全契約面積 ：115ha	・新規申出：4.9ha ・承認予定面積計 ：114.6ha
25	◇かんがい施設整備事業	31	(-)	・かんがい施設整備 ：2地区	・補助申請受理・交付 決定済み：2地区

施策方針/事業・取組	平成 24 年度事業費 [百万円]		平成 24 年度 事業目標	進捗状況 (平成 24 年 8 月末時点)	
	総額	横浜 みどり税 充当額			
26	●不法投棄対策事業	20	(20)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間警備委託 ：33 地区 ・住民パトロール・ 清掃支援：20 地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間警備 ：33 地区で実施中 ・支援用品配付中
27	●環境配慮型施設整備 事業	81	(81)	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬飛散防止ネット ：7.5ha ・牧草による環境対策等 ：15 地区 ・その他施設整備 ：6 件 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業決定 ：1.7ha (11 件) ・事業決定：10 地区 ・事業決定：3 件
担い手育成					
28	◇機械作業受託組織育成 事業	24	(-)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業機械導入支援 ：1 地区 ・組織育成支援 ：2 地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談：1 地区 ・検討中
29	◇担い手コーディネーター 育成・派遣事業	4	(-)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民農園コーディ ネーター育成研修 ：1 回 ・援農コーディネーター ：2 組織 	<ul style="list-style-type: none"> ・育成研修開催準備 (10 月開催予定) ・協定を締結した組織 の支援：2 組織
30	◇農業後継者・横浜型 担い手育成事業	27	(-)	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援 ：28 件 ・農業後継者育成 ：12 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業決定：35 件 ・農業後継者育成：6 人
31	●農地貸付促進事業	17	(17)	<ul style="list-style-type: none"> ・長期貸付開始農地 ：17.3ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・申請書受付中： 14.0ha
確実な担保					
32	●市民農園用地取得事業	976	(69)	<ul style="list-style-type: none"> ・用地測量 ・用地取得：1.7ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地測量 ・用地取得：0.3ha
33	●農地流動化促進事業	21	(21)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象農地面積：6ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の貸借：9.9ha
34	・国への制度要望	-	(-)	<ul style="list-style-type: none"> ・推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・8 月に実施

(3) 緑をつくる

【凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
 ◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

施策方針/事業・取組		平成 24 年度事業費 [百万円]		平成 24 年度 事業目標	進捗状況 (平成24年8月末時点)
		総額	横浜 みどり税 充当額		
35	◎地域緑のまちづくり 事業	785	(597)	・地域緑化計画策定事業 新規：6 地区 継続：6 地区	①新規： ・2 地区で、緑化計画 策定に向けた調整中 ②継続： ・3 地区で、緑化等の 実施に向けた協定締 結が完了 ・2 地区で、協定締結 をするための調整中 ・1 地区で、緑化計画 策定に向けた調整中
				・地域緑化推進事業 ：12 地区	・事業実施中：9 地区
36	◎民有地緑化助成事業	47	(30)	・保育園・幼稚園芝生化 助成事業：20 園	・助成交付決定：4 園
				・区民花壇事業 ：7 箇所	・助成申請受付中
				・生垣設置事業 ：100m	・助成交付決定：9m
				・屋上緑化助成事業 ：20 件	・助成交付決定：6 件
				・名木古木保存事業 ：新規指定 20 本	・新規指定：7 本 ・維持管理に対する 助成：30 本
				・記念樹等生産配布 事業：19,000 本	・配付：9,028 本
37	◇公共施設緑化事業	268	(-)	・2.0ha	・実施中（2.0ha） （公立保育園 4 園、 公立小中学校 5 校 の芝生化含む）
38	◇公共施設緑化管理事業	145	(-)	・339 施設、31.6ha	・実施中（31.6ha）
39	◎いきいき街路樹事業	180	(180)	・せん定本数 ：10,000 本	・実施中 （せん定本数 ：10,000 本）
40	・民有地緑化の誘導等	-	(-)	・推進	・緑化地域制度等 運用中
41	・建築物緑化保全契約の 締結（建築物の敷地に 対する固定資産税等の 軽減）	-	(-)	・制度運用	・契約締結：1 件

施策方針/事業・取組		平成 24 年度事業費 [百万円]		平成 24 年度 事業目標	進捗状況 (平成24年8月末時点)
		総額	横浜 みどり税 充当額		
42	◇みどりアップ広報事業	6	(-)	・推進	・推進中 (よこはま花と緑のスプリングフェア等のイベント出展等、平成 23 年度事業成果リーフレット作成・配布・町内会等回覧)
事業費計 ※四捨五入の関係により、合計が一致しないことがあります。		15,608	(3,287)	執行率 ・事業費総計：32.4% ・みどり税充当額総計：22.9%	

2 横浜みどりアップ計画市民推進会議について

(1) 広報誌の発行（「濱 RYOKU」第 11 号／4 月発行、第 12 号／7 月発行）

- ・ 広報誌「濱 RYOKU（はまりよく）」第 11 号、第 12 号を発行
- ・ PR ボックスや、区役所などの公共施設（約 600 箇所）等で、各号 17,000 部を配布

<主な内容>

■第 11 号

- ・ 市民推進会議による現地調査（戸塚区、都筑区）の実施報告
- ・ 横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の取組紹介（民有地緑化助成事業）

■第 12 号

- ・ 市民推進会議の 23 年度報告書（横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の評価と提案）の概要
- ・ 横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の取組紹介（食と農との連携事業）

(2) 第 8 回調査部会（平成 24 年 8 月 1 日）

- ・ 現場で活動されている方や、助成を受けている方の声を直接聞くため、横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の事業が活用されている現場の調査を実施
- ・ 今年度からの新たな取組として、一般の参加者を募集

<調査概要>

■調査箇所

- ・ 青葉区田奈の農地（「農地を守る」施策の実施箇所）

■実施施策

- ・ 水田保全契約奨励事業 : 水田を保全する土地所有者への支援
- ・ 団体の農地の維持管理奨励事業 : 農地の維持管理団体への支援
- ・ 共同直売所の設置支援事業 : 共同直売所の整備支援

1. 現行みどりアップ計画の課題

◆各施策の課題

樹林地を守る

- ・樹林地の減少は鈍化しているが、5か年の指定目標（1119ha）の達成は困難な状況。
- ・今後も、保全対象の樹林地はまだ多く残り、効果的な取組が求められる。
- ・一方、不測の事態における土地所有者からの買取り希望には、みどり税の導入により確実に対応できている。

農地を守る

- ・水田保全契約奨励事業は目標を大きく上回る進捗状況となっているが、農園付公園整備事業の進捗は遅れている。
- ・「農」に対する市民ニーズが多様化している。
- ・施策体系が分かりづらい。

緑をつくる

- ・地域緑のまちづくり事業では、地域の方が主体になり着実に地域で緑の創出が進んでいるが、計画策定に時間を要するため、事業実績は目標をやや下回る状況になっている。
- ・効果的な場所での「市民が実感できる緑」や、街の魅力や賑わいの創出にもつながる緑の創出が求められている。
- ・民間・行政ともに緑に対する主体的な取組が十分でない。

◆市民の声

- ・樹林地の指定・買取りは、見た目の変化がなく、みどりアップ計画やみどり税の効果を十分に実感できない。
- ・市街地に住んでいると恩恵が感じられない。
- ・農地の緑としての機能はわかりにくい。
- ・計画の体系が複雑でわかりにくい。
- ・事業の整理・統合も含め取組の重点化を行うべき。

◆その他

- ・樹林地の指定拡大に伴い、将来的には買取に加え、維持管理にかかる経費負担も大きくなる。
- ・みどり税の使途や成果を市民に分かりやすく説明することが求められている。

2. 次期緑施策（重点取組）の方向性

基本的な考え方

1. これまでの成果を継承しながら、生物多様性の主流化、街の賑わいや魅力につながる緑の創出、東日本大震災で改めて認識された緑の役割など、新しい視点を加えた取組を展開します。

2. 市民に分かりやすく、実効性の高い施策とするため、事業の整理・見直しを実施し、より効果の高い取組を重点化します。

施策ごとの方針

樹林地を守る： 緑地保全制度による指定・買取りを継続（特に緑の10大拠点等で重点的に取組む）。維持管理の充実や森と市民をつなぐ取組による質の向上を重点化

農地を守る： 農景観の保全に直接つながる取組、市民が農を実感できる取組を重点化。農業経営を支援する取組は、通常の事業に整理して実施

緑をつくる： 街の魅力や賑わいづくりのため、都心部の公共空間を中心とした集中的な緑の創出や、緑のネットワーク形成も念頭においた、市街地における市民の「実感」につながる緑をつくる取組を重点化

広報の展開： 取組の状況や成果を広く市民に周知し、市民の理解を広げることにより、主体的に参加する市民を増やす

※ニーズが少ない事業や、整備が完了した事業、他の主体と役割分担すべき事業等については廃止・統廃合

（平成24年11月予定）
環境創造審議会からの答申

アンケート調査の結果
（別紙3・4〈速報値〉）

市会での審議

3. 次期緑施策の体系と主な取組内容（案）

樹林地を守る

- 継続保有の促進・確実な担保の継続
 - ・市内一律の指定推進から、緑の10大拠点などを核とした、緑のネットワーク形成・質の高い緑の保全を図るための指定を重点化（生物多様性の保全にも配慮）
 - ・指定を受けるインセンティブとなるよう、土地所有者への維持管理助成を拡充
 - ・買取り希望への確実な対応により、樹林地を確実に担保 など

- 良好な樹林地を育成する維持管理を市民・企業とともに推進
 - ・斜面地の崩落防止等の安全対策を、景観や生物多様性に配慮した工法で実施
 - ・保全管理計画の策定、生物多様性にも配慮した維持管理を市民・企業とともに実施する取組を拡充（公園内樹林地も対象とすることを検討）
 - ・維持管理に関わる人を育てるため、講座や支援策の実施を継続 など

- 森と市民とをつなげる取組を推進
 - ・現計画で整備したウェルカムセンターを拠点として活用し、情報発信や森に関わる人材の育成による森の利活用を推進
 - ・市民が森と関わる段階に応じたプログラムの展開 など

農地を守る（農景観を守る）

- 農景観の保全
 - ・田園景観の維持につながる水田の保全を一層進める
 - ・まとまりのある農地を保全する農地の貸し借りへの支援を拡充
 - ・良好な農景観をつくる地域の活動を支援 など

- 市民が身近に農を楽しむ場の創出
 - ・市民や企業など様々な主体との連携による地産地消の更なる推進
 - ・市民ニーズに合わせた農園（市民農園や収穫体験型農園等）を開設し、市民が農を楽しむ場所を充実
 - ・はまふうどコンシェルジュなど地産地消に関わる人材育成 など

緑をつくる

- 市民が「実感できる緑」の創出
 - ・公共空間（区役所、駅前空間等）での質の高い緑の創出を重点的に実施
 - ・地域の顔となる街路樹などの街の緑を育成する取組を充実
 - ・公開性・視認性が高い民有地緑化への助成を拡大 など

- 緑を楽しむ機運、市民の盛り上げの醸成
 - ・都心臨海部の魅力や賑わい創出につながる緑・花の空間づくりを公共空間を中心として実施
 - ・地域で策定した計画に基づき緑化を行う地域緑のまちづくり事業の対象を拡大
 - ・保育園や学校等子どもを育む空間での緑の創出 など

広報の展開

広報よこはまやタウン誌での特集や、緑に関するイベント、電車内広告などの活用

樹林地を守る

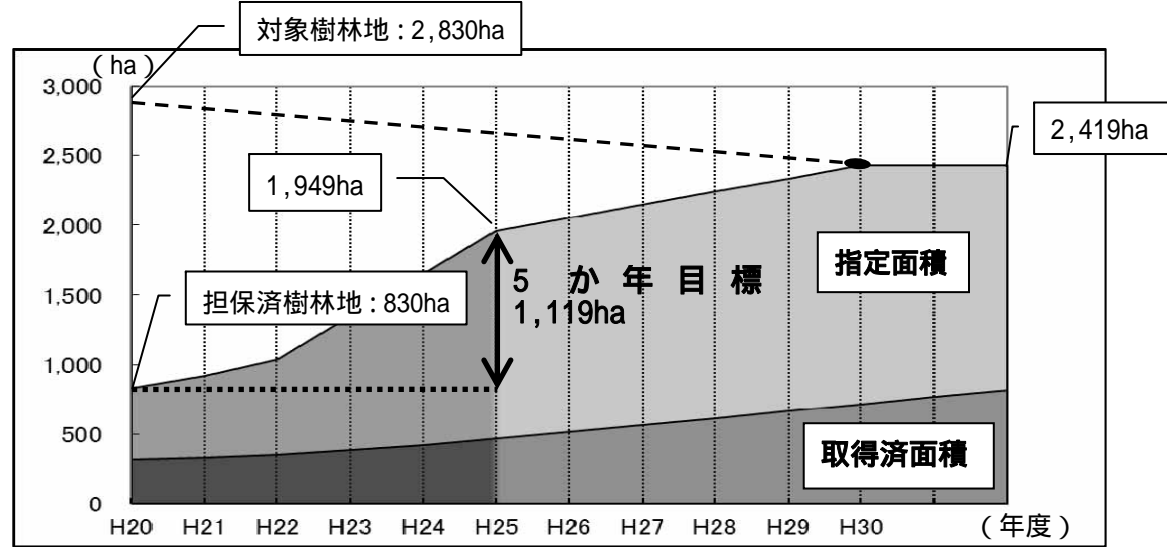


図1：横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）における樹林地の指定・取得面積の推移（計画目標）

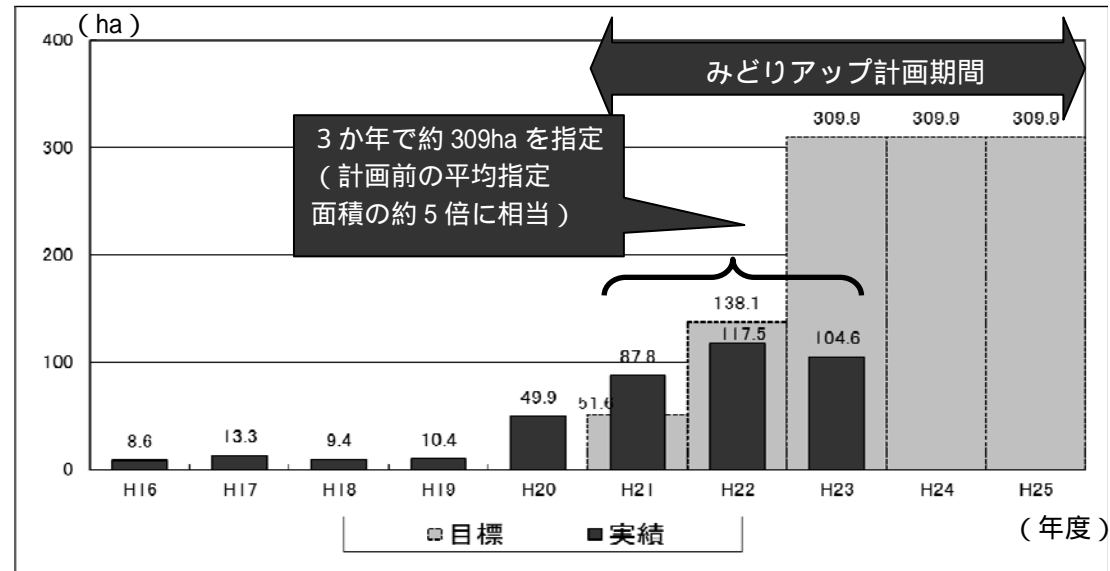


図2：緑地保全制度の指定実績

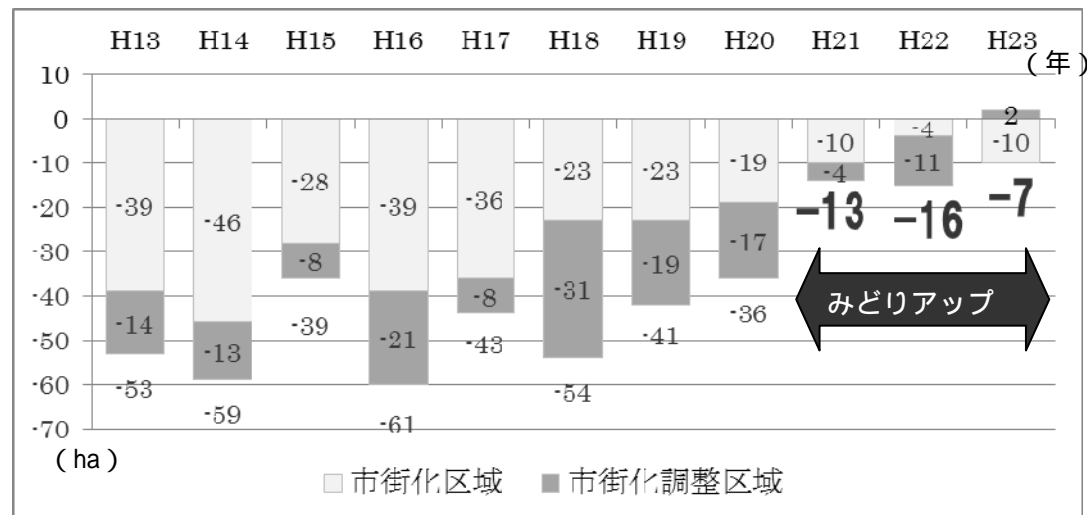


図3：山林面積（ ）の減少状況（単位：ha）

：面積は、固定資産税の課税地目が山林である土地の面積から算出した推計値

横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）推進の状況

農地を守る

表1：農地を保全する取組（単位：ha）

取組メニュー	5か年目標	H21-23実績
生産緑地制度の活用	14	1.5
農園付公園整備事業	7.5	1.6
市民農園用地の取得	8	0.4
農地流動化促進事業	20	15.6
計	49.5	19.1

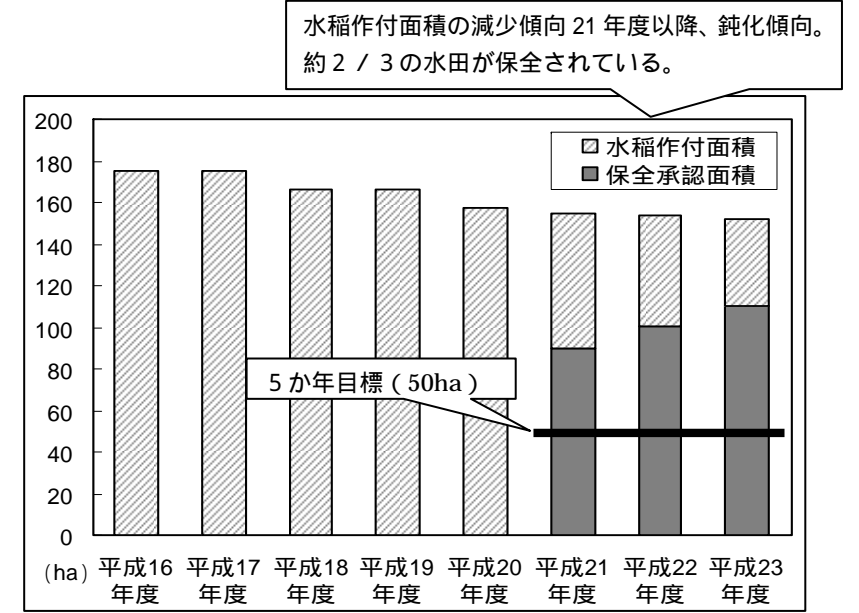


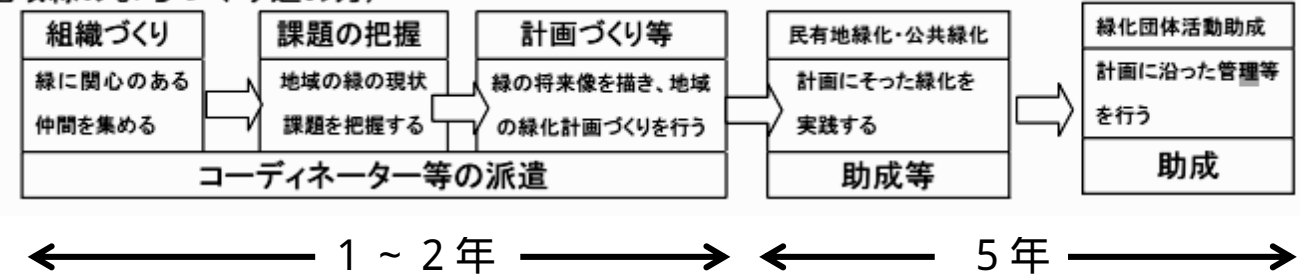
図4：水稲作付面積と保全奨励面積の推移

緑をつくる

表2：緑をつくる取組の実績

事業名	取組メニュー	5か年目標	H21-23実績
地域緑のまちづくり事業	緑化計画策定	30地区	12地区
	地域緑化の推進	18地区	6地区
民有地緑化助成事業	保育園・幼稚園芝生化	100園	32園

(地域緑のまちづくり進め方)



計画づくりの様子



緑化活動の様子

「横浜の緑に関する市民意識調査(速報値)」について

今後の横浜の緑に関する施策検討の基礎資料とするために実施した「横浜の緑に関する市民意識調査」の結果の速報値(単純集計)がまとまりましたのでご報告いたします。

1 調査の対象

市民3,000人

(住民基本台帳及び外国人登録原票から無作為に抽出した満20歳以上の市民)

2 実施期間

(1) 発送日:平成24年7月6日(金)

(2) 回答期限:平成24年7月20日(金)

3 回収数

1,173票(回収率39.1%)

※集計作業の事務手続き上、回答期限の2週間後までに投函された(8/4消印有効)調査票を有効票として集計しました

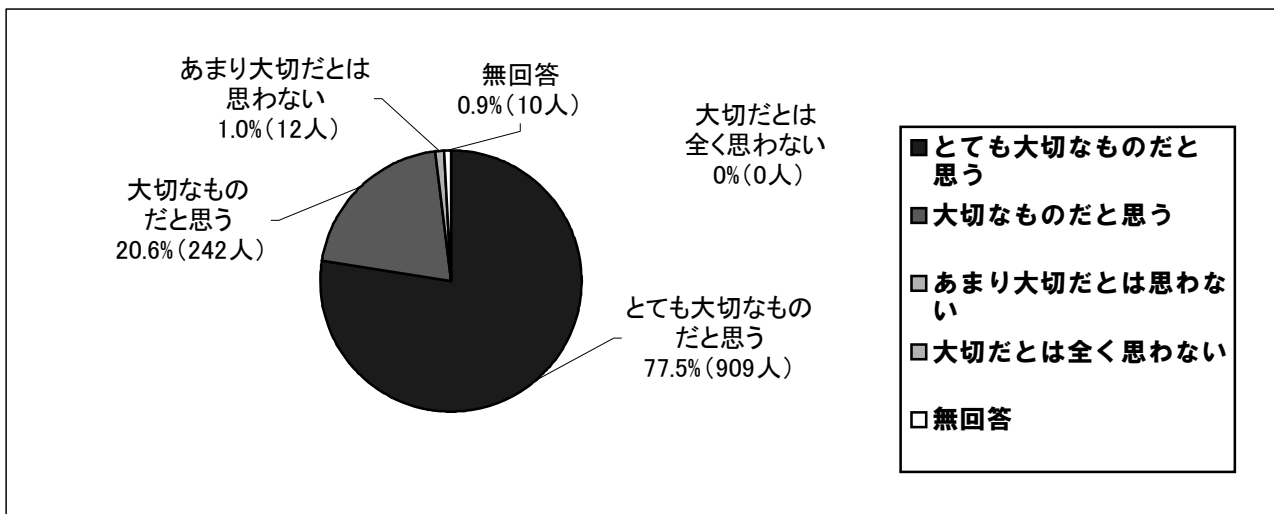
4 集計結果

下記のとおり

問1

樹林地や山林、農地、公園や街路樹、植え込みなど、横浜の「緑」の大切さについて、あなたはどのようにお考えですか。

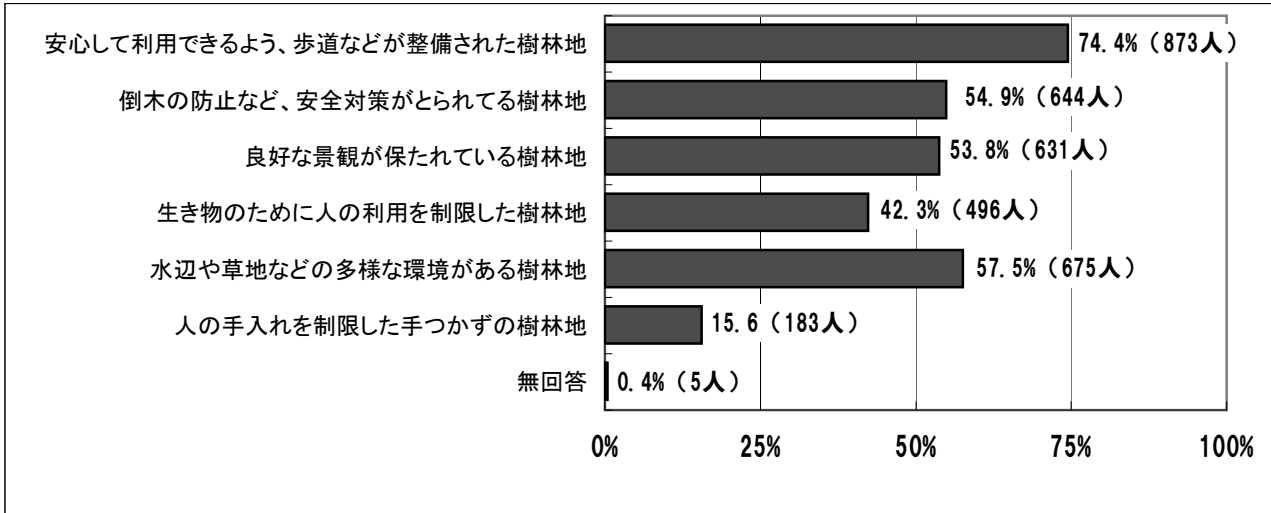
ほとんどすべての方(約98%)が「とても大切なものだと思う」「大切なものだと思う」と回答しています。



問2

どのような樹林地・山林があったらいいと思いますか。【複数回答可】

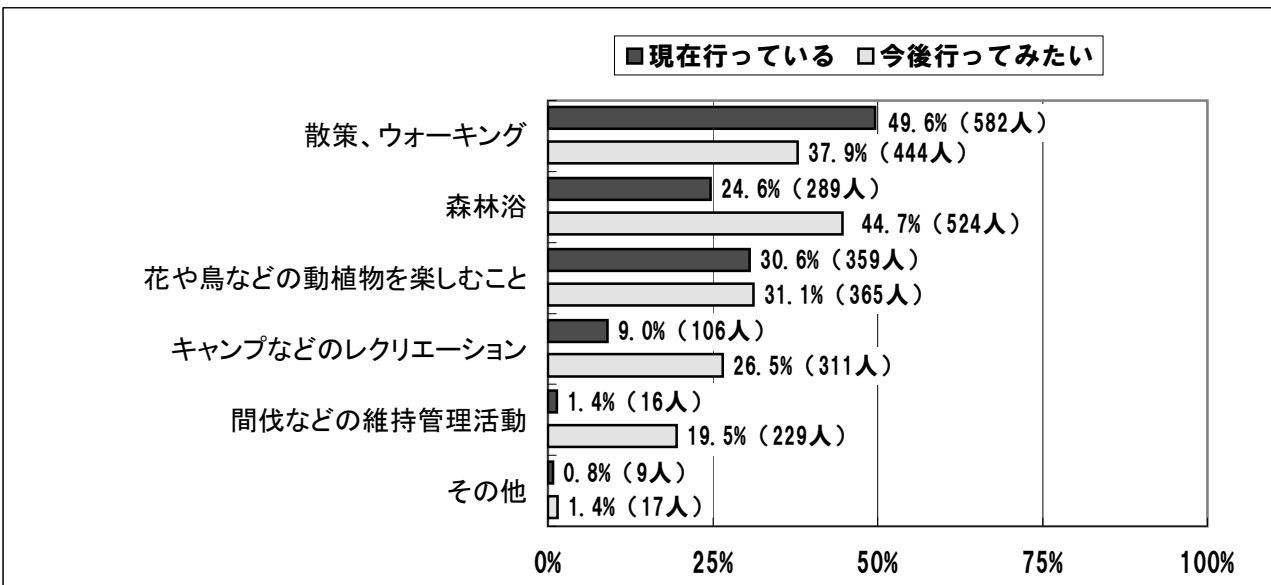
「安心して利用できるよう、歩道などが整備された樹林地」が最も多い回答でした。(約74%)

**問3**

樹林地・山林で、現在行っていること、今後行ってみたいことはどんなことですか。【複数回答可】

現在行っていることは、「散策、ウォーキング」が最も多い回答でした。(約50%)

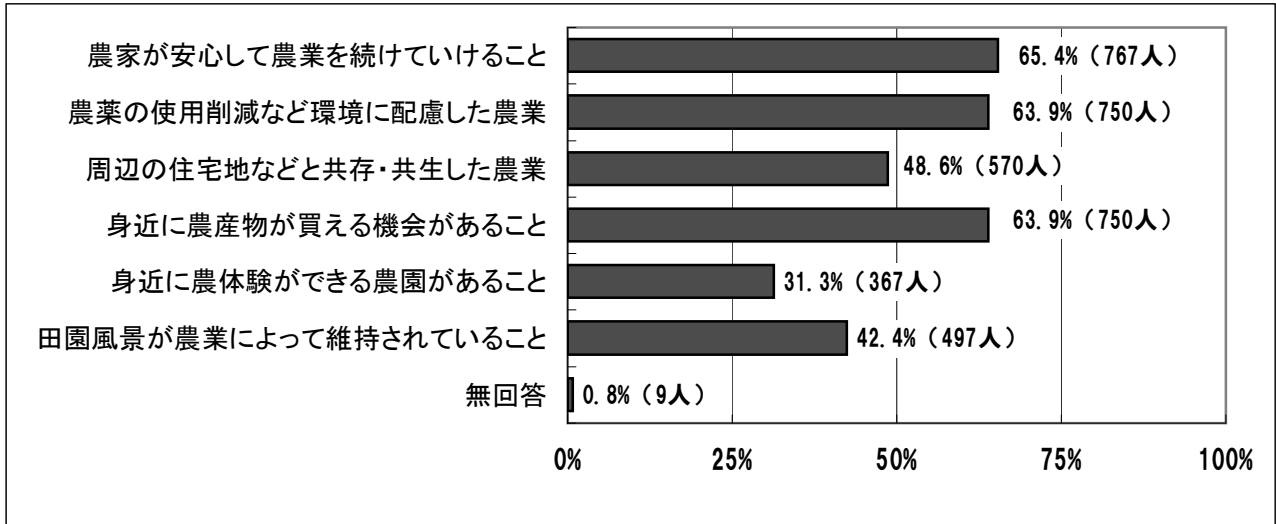
今後行ってみたいことは、「森林浴」が最も多い回答でした。(約45%)



問4

横浜ではどのような農業が展開されたいと思いますか。【複数回答可】

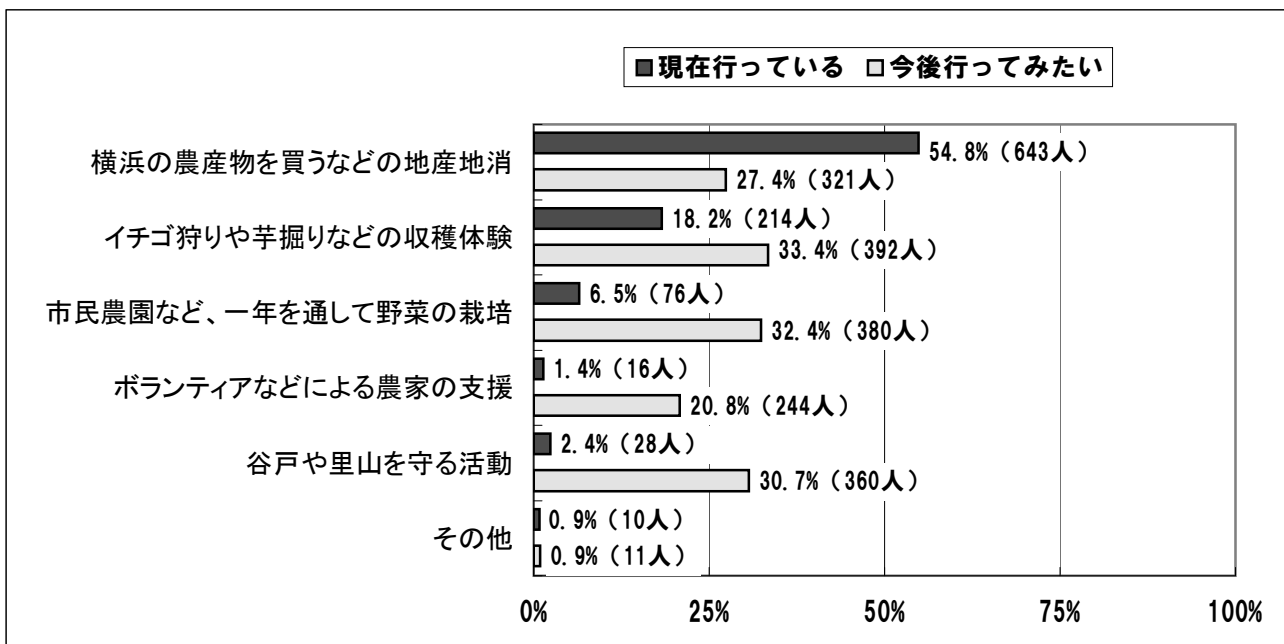
「農家が安心して農業を続けていけること」が最も多い回答でした。(約65%)



問5

農に関することについて、現在行っていること、今後行ってみたいことはどんなことですか。【複数回答可】

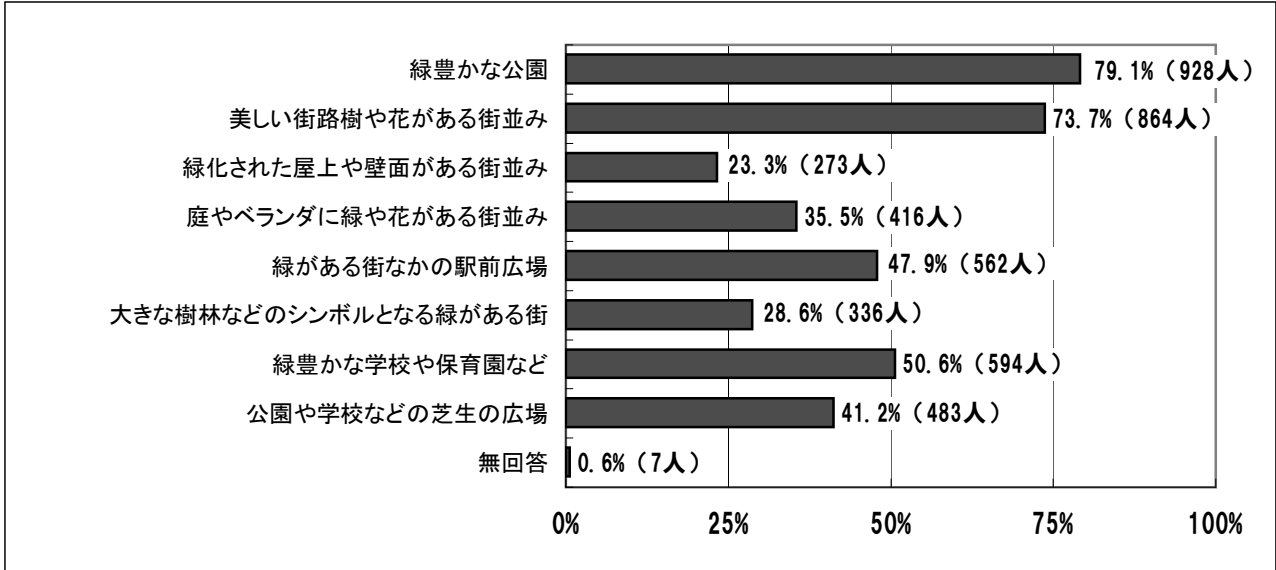
現在行っていることは、「横浜の農産物を買うなどの地産地消」が最も多い回答でした。(約55%)
 今後行ってみたいことは、「イチゴ狩りや芋掘りなどの収穫体験」が最も多い回答でした。(約33%)



問6

街路樹、公園、植え込みなどの身近な街なかのみどりについて、どのような空間があったらいいと思いますか。【複数回答可】

「緑豊かな公園」が最も多い回答でした。(約79%)

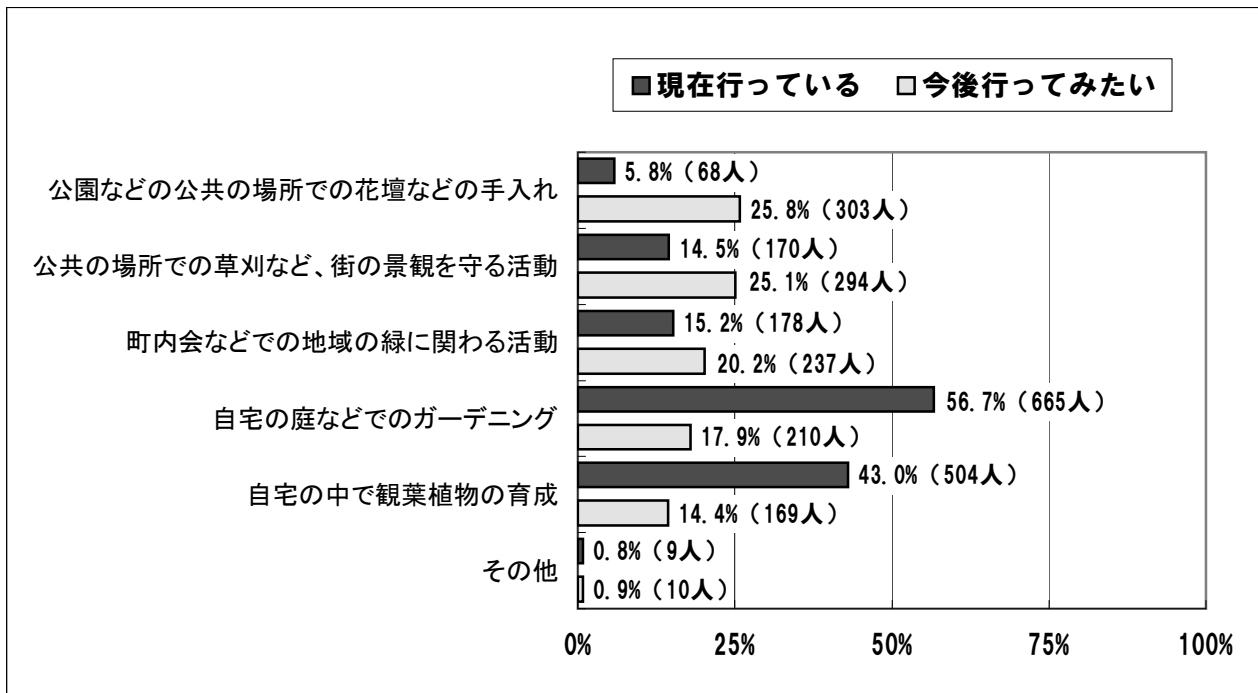


問7

街路樹、公園、植え込みなど街なかのみどりについて、現在行っていること、今後行ってみたいことはどんなことですか。【複数回答可】

現在行っていることは、「自宅の庭などでのガーデニング」が最も多い回答でした。(約57%)

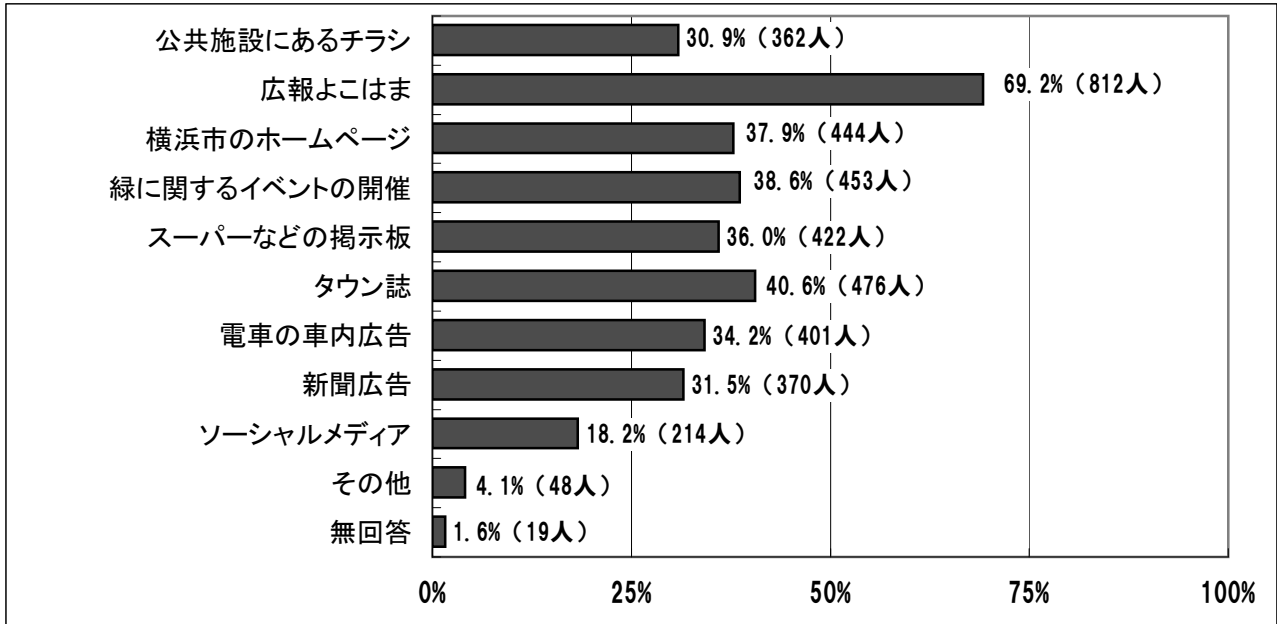
今後行ってみたいことは、「公園などの公共の場所での花壇などの手入れ」が最も多い回答でした。(約26%)



問8

緑に関する行政の取組について、どのような手段で皆さまにお知らせするのがいいと思いますか。【複数回答可】

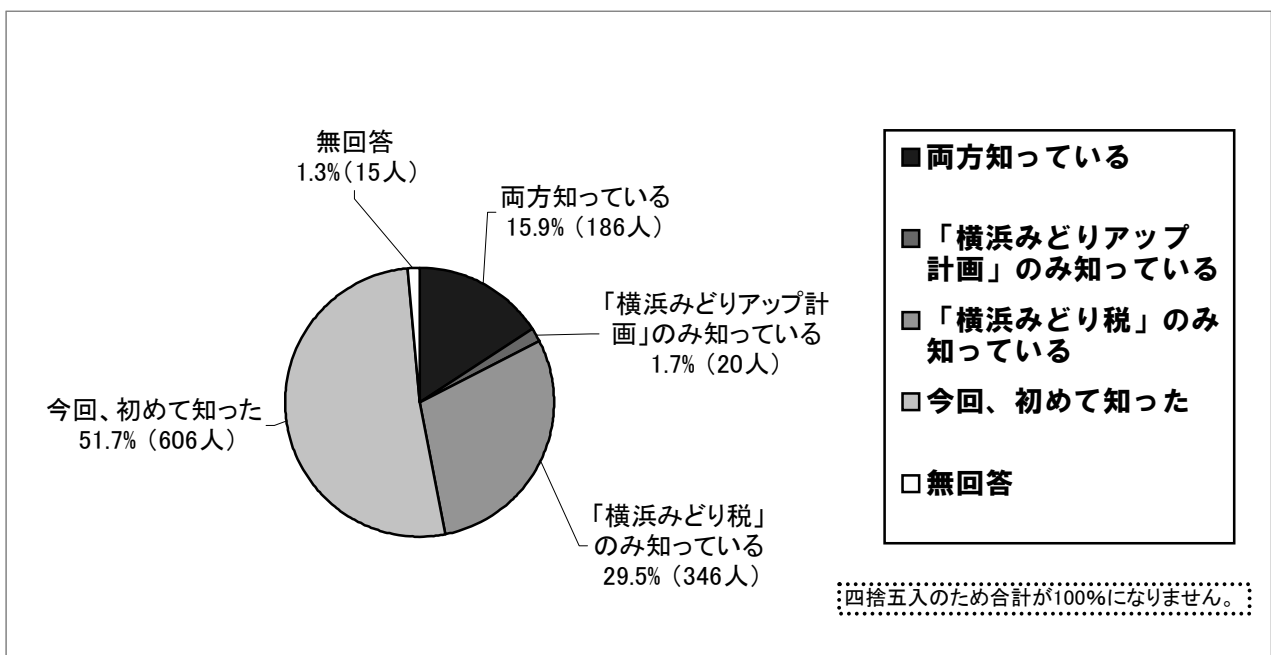
「広報よこはま」が最も多い回答でした。(約69%)



問9

横浜市では、現在「横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）」に取り組んでおり、その財源の一部として「横浜みどり税」をご負担していただいておりますが、このことについて知っていましたか。

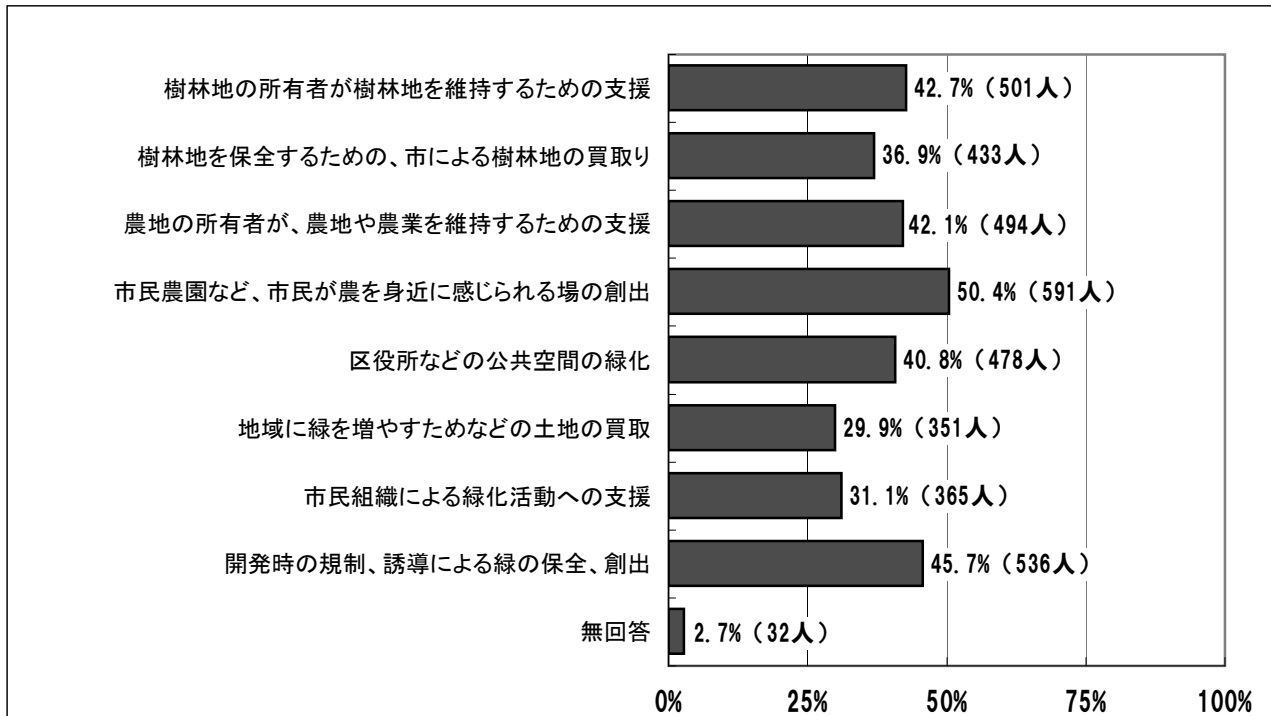
約18%の方が「横浜みどりアップ計画」をご存知でした。
約45%の方が「横浜みどり税」をご存知でした。



問10

横浜市は緑に関わる取組として、何をすべきだと思いますか。【複数回答可】

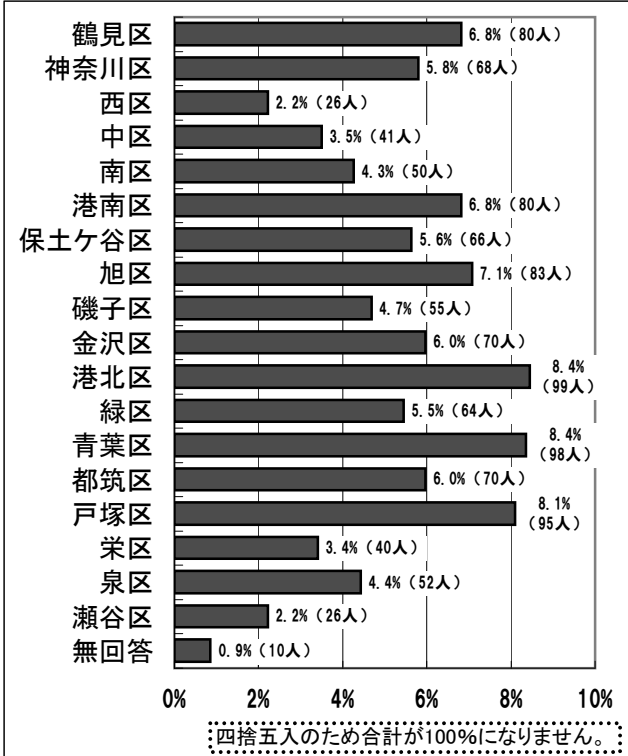
「市民農園など、市民が農を身近に感じられる場の創出」が最も多い回答でした。(約50%)



回答者属性

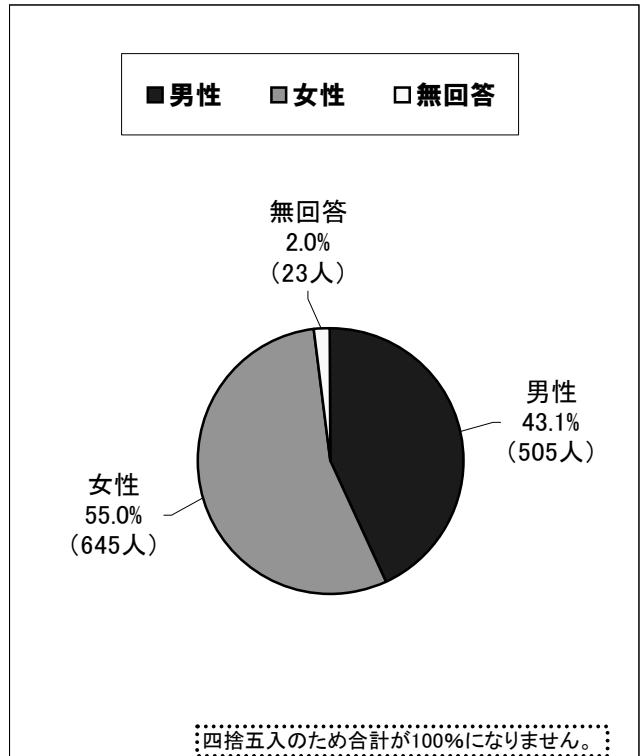
①

あなたは現在どちらにお住まいですか。



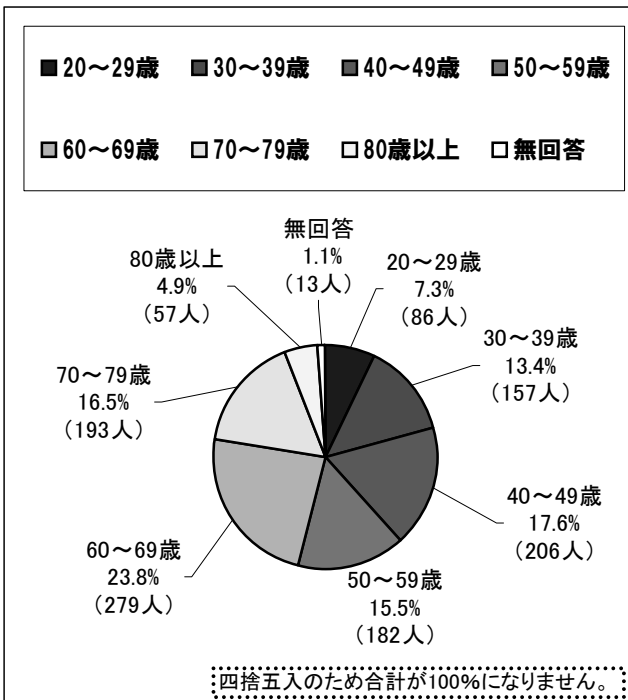
②

あなたの性別はどちらですか。



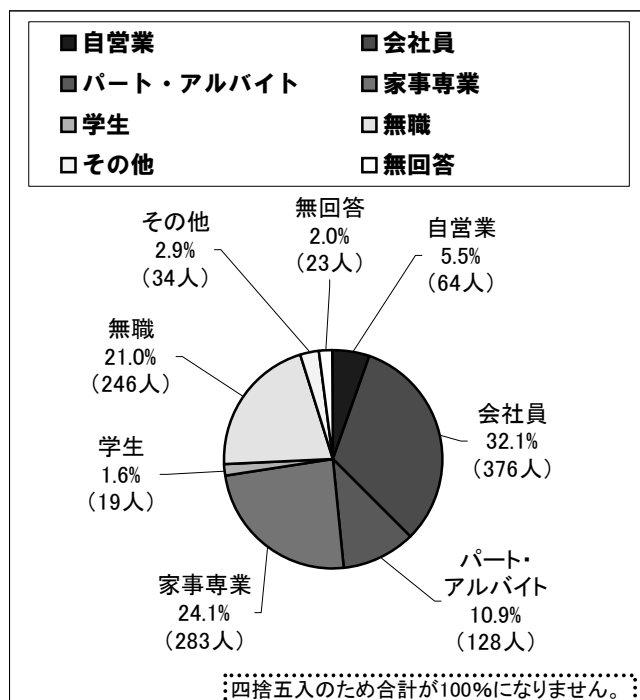
③

あなたの年齢はおいくつですか。



④

あなたのご職業は何ですか。



「横浜の緑に関する土地所有者意識調査(速報値)」について

樹林地や農地を保有するうえでの課題等を把握し、今後の横浜の緑に関する施策検討の基礎資料とするために実施した「横浜の緑に関する土地所有者意識調査」の結果の速報値(単純集計)がまとまりましたのでご報告いたします。

1 調査の対象

- (1) 樹林地所有者
5,332人(一筆500㎡以上の樹林地所有全員)
- (2) 農地所有者
3,000人(1,000㎡以上の農地所有者から無作為抽出)

2 実施期間

- (1) 発送日:平成24年7月20日(金)
- (2) 回答期限:平成24年8月3日(金)

3 回収数

- (1) 樹林地所有者
1,778票(回収率33.3%)
 - (2) 農地所有者
1,228票(回収率40.9%)
- ※集計作業の事務手続き上、回答期限の2週間後までに投函された(8/18消印有効)調査票を有効票として集計しました

4 集計結果

下記のとおり

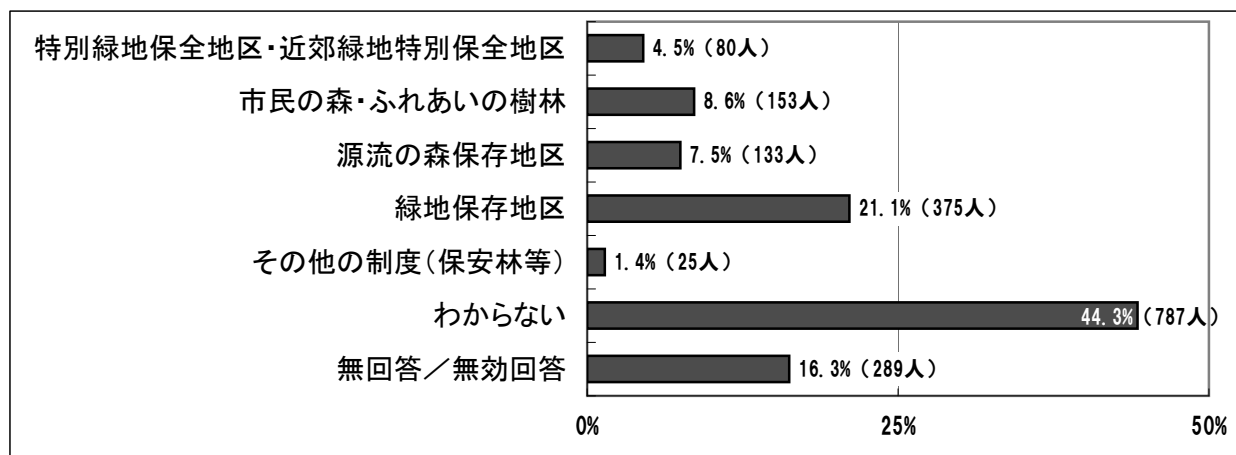
(1) 樹林地所有者

問1

あなたの所有する樹林地は次の緑地保全制度の指定を受けていますか。【複数回答可】

約44%の方が「わからない」と回答しています。

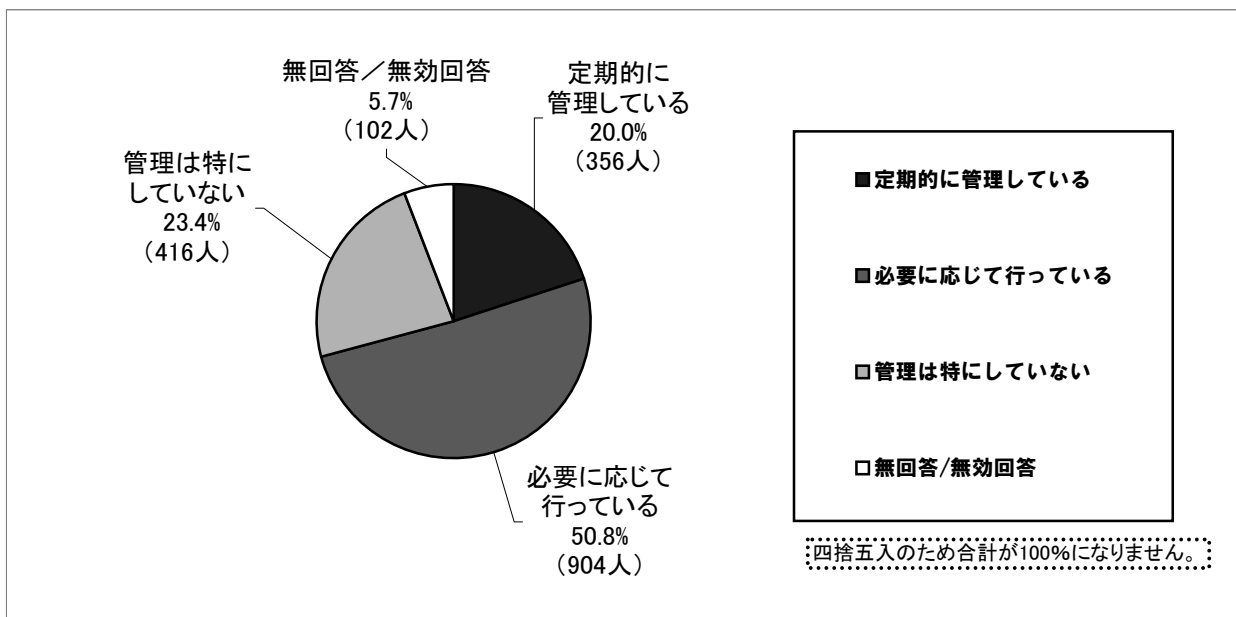
指定を受けている樹林地では、「緑地保存地区」が最も多い回答(約21%)でした。



問2-1

あなたは、所有されている樹林地の草刈など、日ごろの維持管理を行っていますか。

約71%の方が「定期的に管理している」「必要に応じて行っている」と回答しています。その一方、約23%の方が「管理は特にしていない」と回答しています。

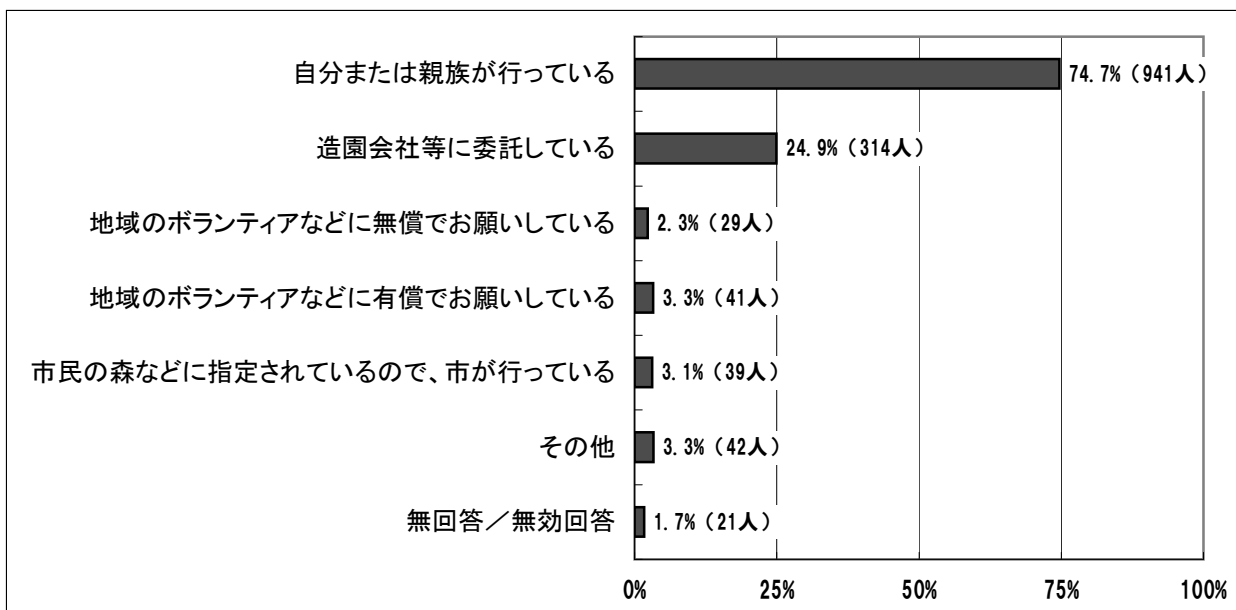


問2-2(1)

問2-1で「定期的に管理している」または「必要に応じて行っている」と回答した方にお伺いします。おもにどなたが管理していますか。【複数回答可】

「自分または親族が行っている」が最も多く(約75%)、「造園会社等に委託している」が次に多い回答(約25%)でした。

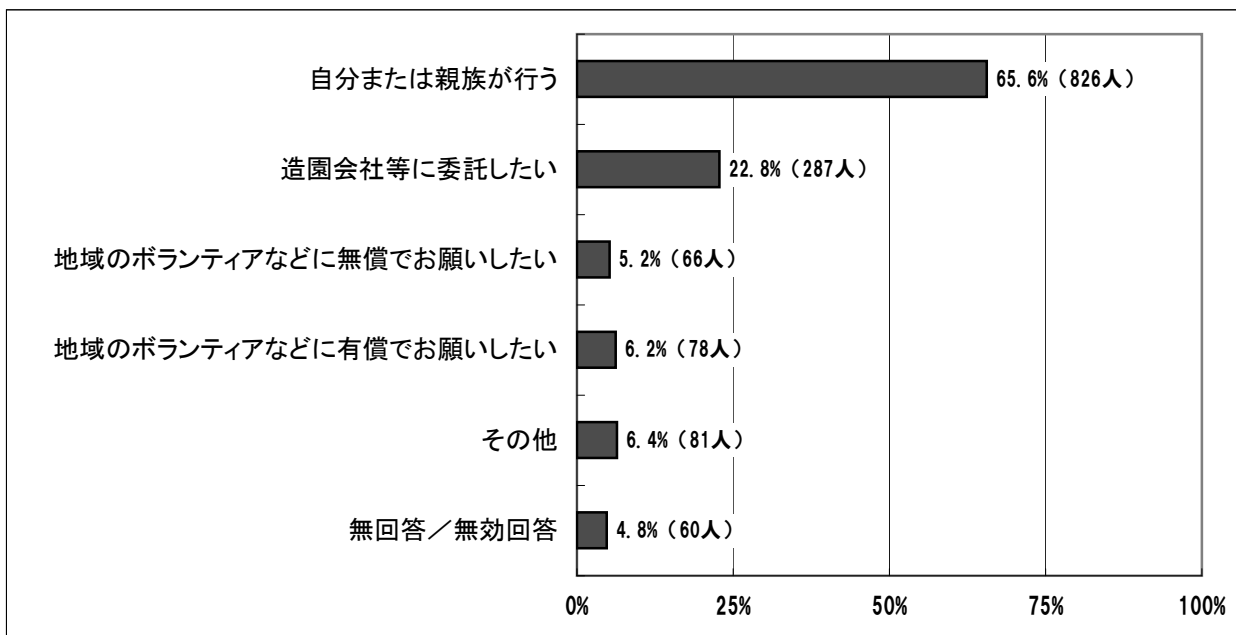
N=1,260



問2-2(2) 今後、どなたが管理していくお考えですか。【複数回答可】

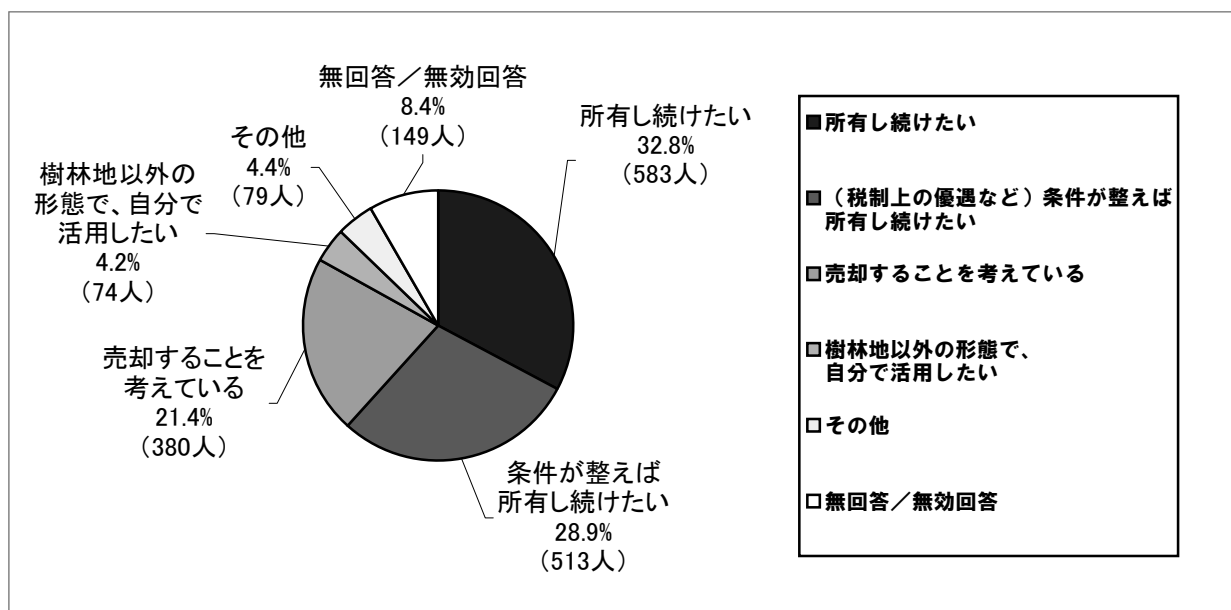
「自分または親族が行う」が最も多く(約66%)、「造園会社等に委託したい」が次に多い回答(約23%)でした。

N=1,260



問3-1 あなたは、樹林地の所有についてどのようにお考えですか。

約62%の方が「所有し続けたい」「条件が整えば所有し続けたい」と回答しています。その一方、約21%の方が「売却することを考えている」と回答しています。

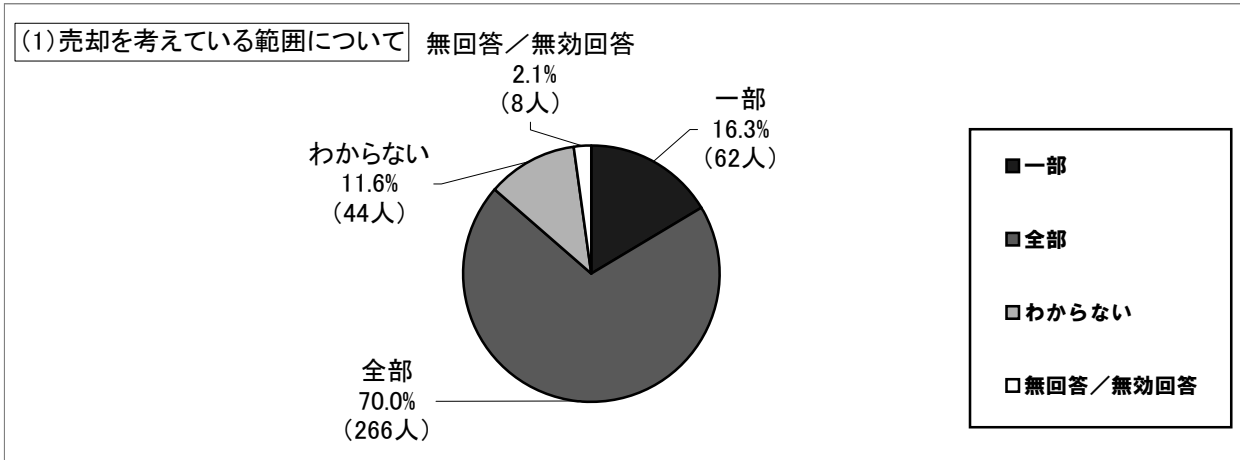


問3-2

問3-1で「売却することを考えている」と回答した方にお伺いします。売却する樹林地の範囲や時期、売却先についてどのようにお考えですか。

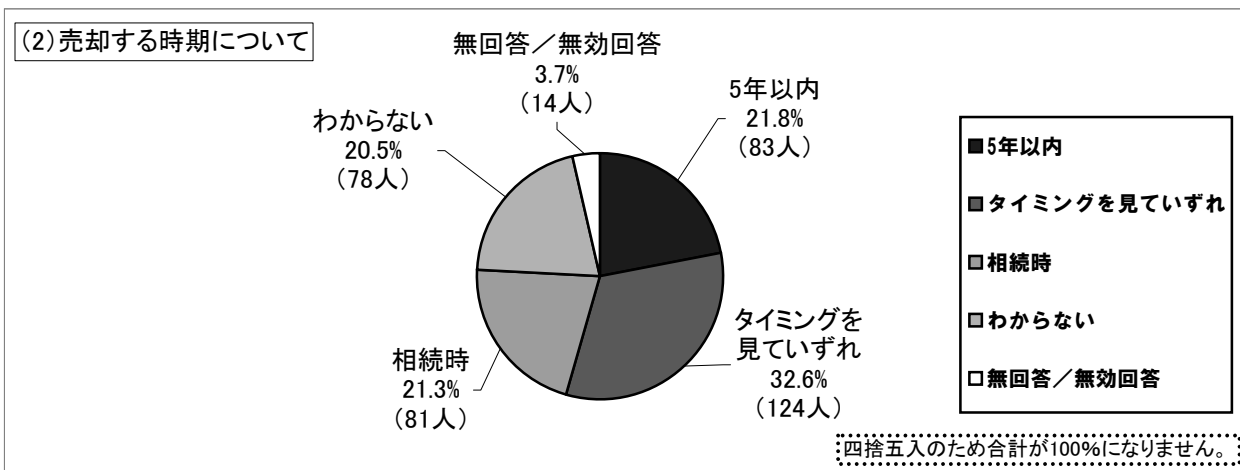
問3-2(1) 売却を考えている樹林地は、一部ですか。全部ですか。

樹林地を「全部」売却することを検討している方が最も多く(約70%)、「一部」売却を検討している方が次に多い回答(約16%)でした。 N=380



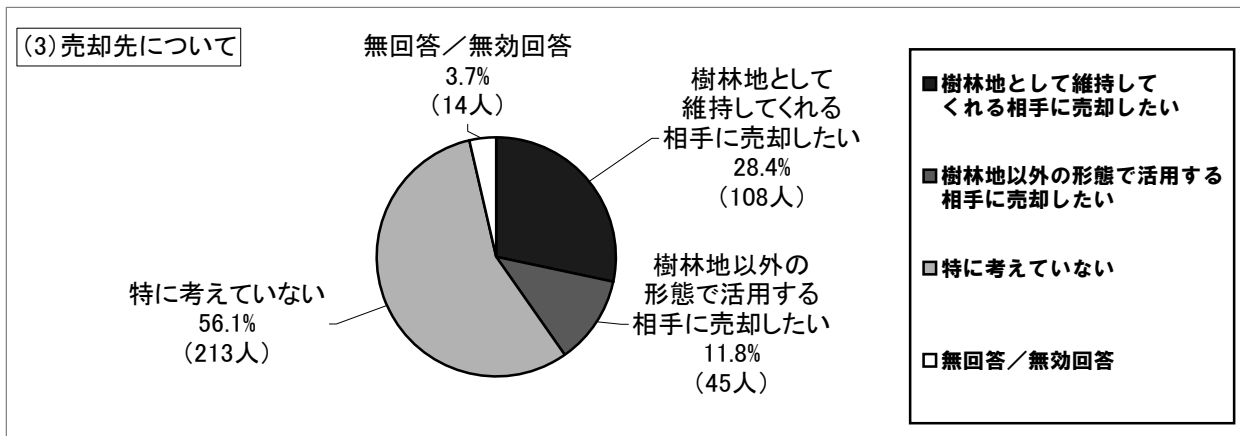
問3-2(2) 売却する時期は、いつごろをお考えですか。

「タイミングを見ていずれ」が最も多く(約33%)、「5年以内」が次に多い回答(約22%)でした。 N=380



問3-2(3) 売却先について、どのようにお考えですか。

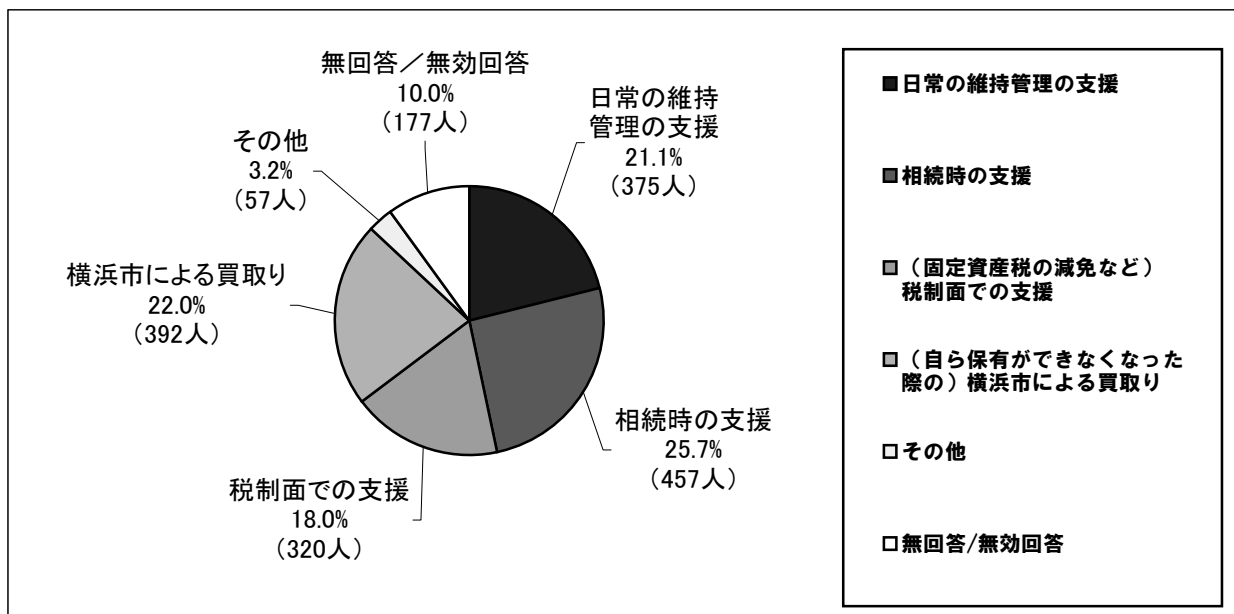
「特に考えていない」が最も多く(約56%)、「樹林地として維持してくれる相手に売却したい」が次に多い回答(約28%)でした。 N=380



問4

樹林地を所有する上で、どのような支援・条件が必要だとお考えですか。

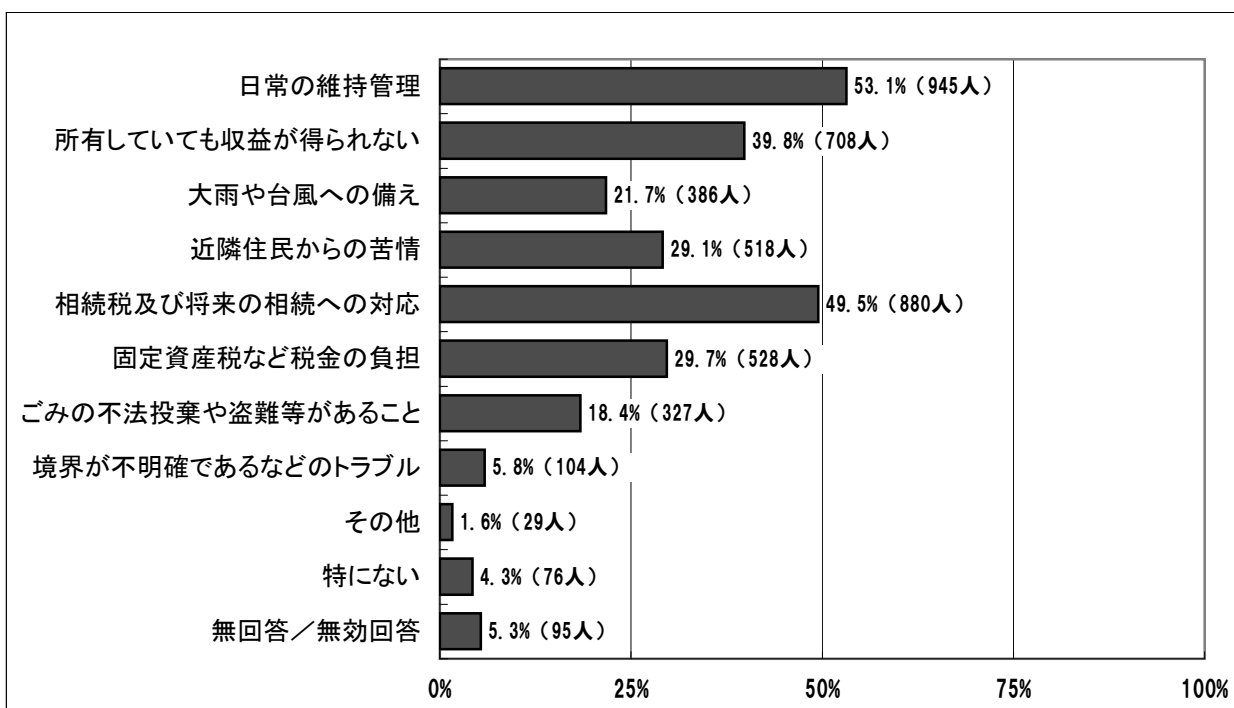
「相続時の支援」が最も多く(約26%)、「横浜市による買取り」が次に多い回答(約22%)でした。



問5

樹林地を所有する上で課題だと思えるものは何ですか。【3つまで回答可】

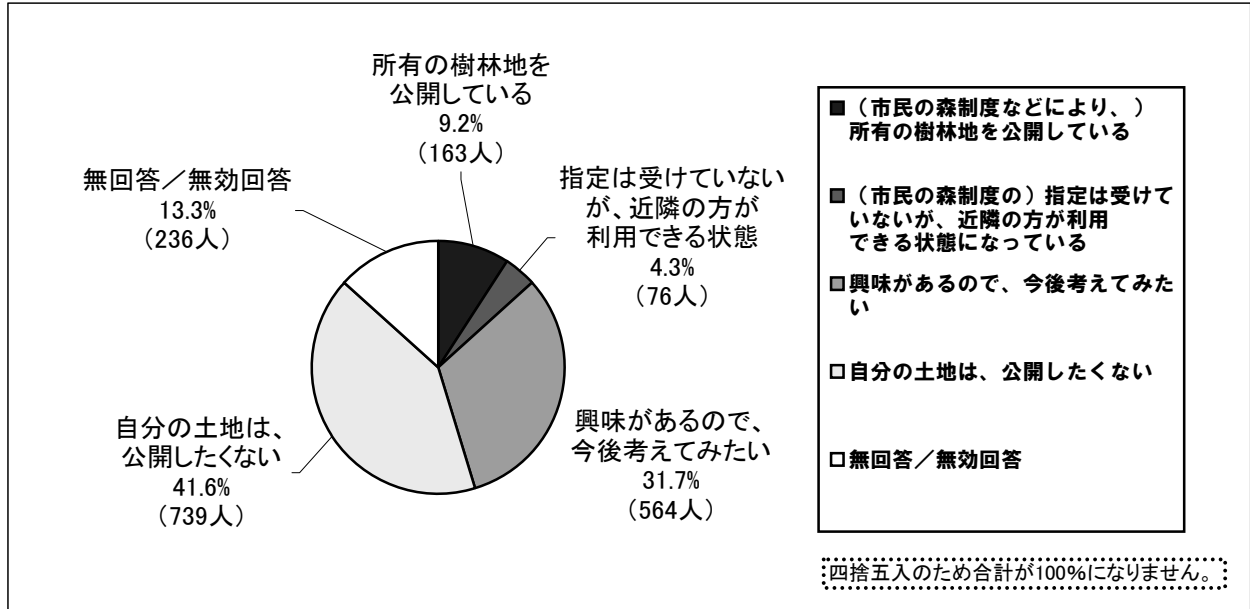
「日常の維持管理」が最も多く(約53%)、「相続税及び将来の相続への対応」が次に多い回答(約50%)でした。



問6

横浜市では、所有者の方が土地を所有しながら、樹林地を公開し、市民の方に利用していただく「市民の森」制度があります。制度の指定を受けると、税の軽減が受けられるほか、緑地育成のための奨励金が交付されます。樹林地を公開することについて、どのようにお考えですか。

「公開したくない」が最も多く(約42%)、「興味があるので、今後考えてみたい」が次に多い回答(約32%)でした。

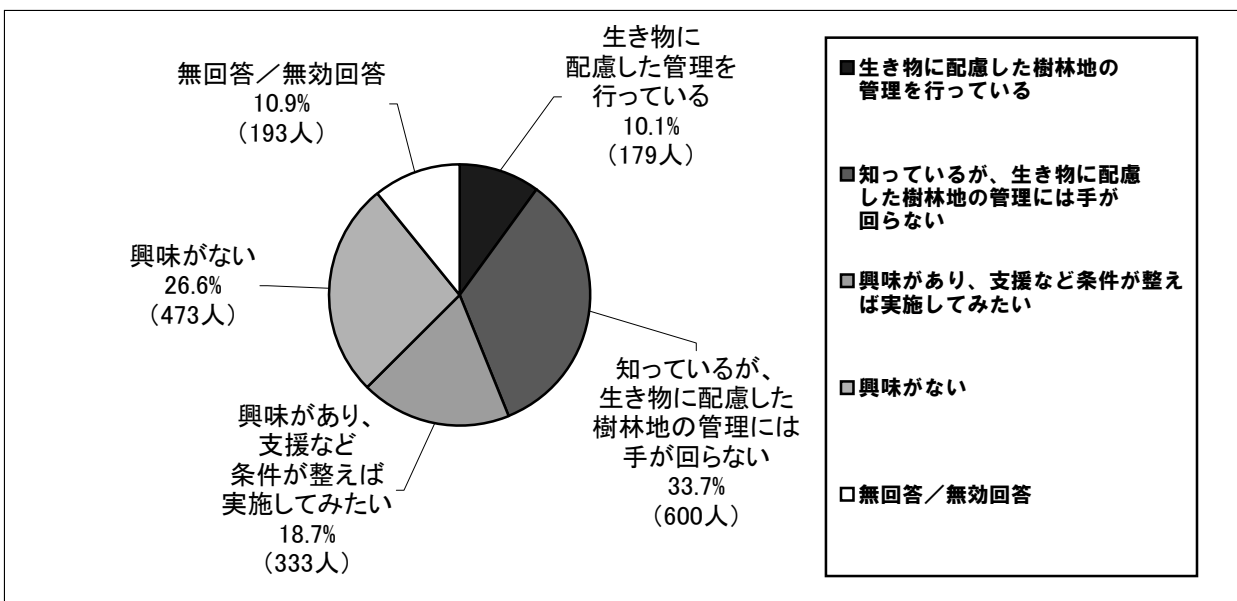


問7

横浜市では、生物多様性横浜行動計画（ヨコハマbプラン）にもとづき生物多様性確保に向けた取り組みを実施しています。樹林地は、管理の仕方によって多様な生き物が生息できる空間になりますが、このことについてどのようにお考えですか。

「生き物に配慮した樹林地の管理には手が回らない」が最も多く(約34%)、「興味がない」が次に多い回答(約27%)でした。

その一方、約29%の方が「生き物に配慮した管理を行っている」「興味があり、条件が整えば実施してみたい」と回答しています。

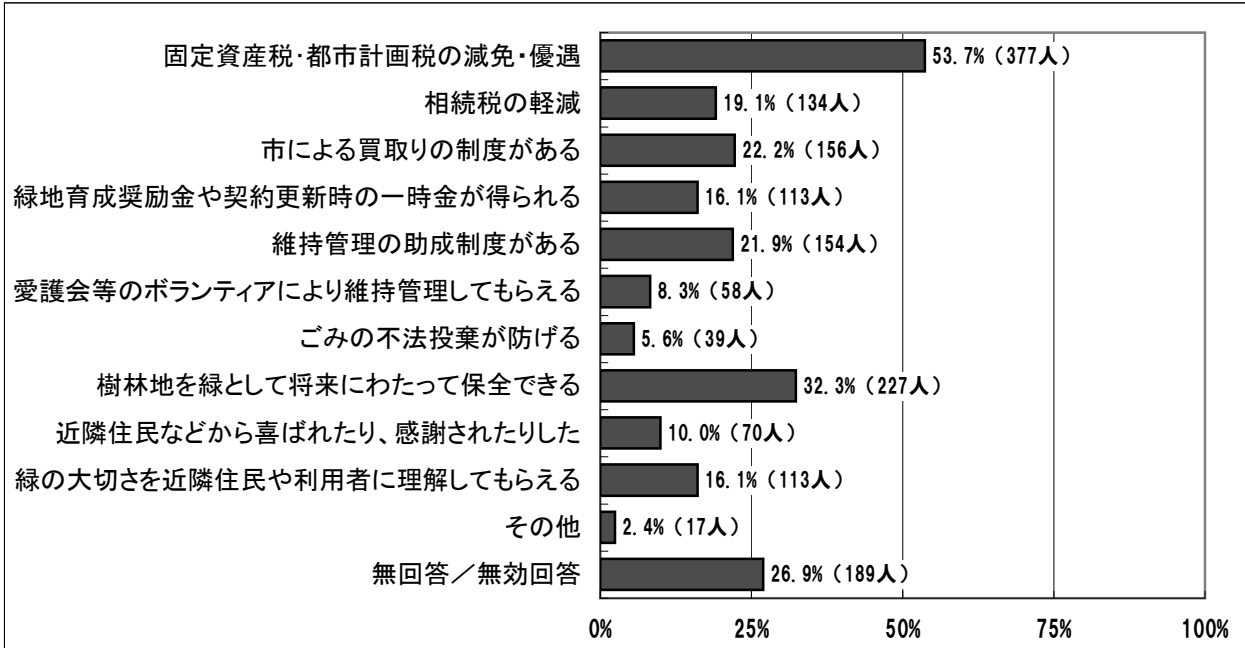


所有している樹林地が緑地保全制度の指定を受けている方は問8～9をお答えください。

問8 制度指定を受けて良かったことは何ですか。【複数回答可】

「固定資産税・都市計画税の減免・優遇」が最も多く(約54%)、「樹林地を緑として将来にわたって保全できる」が次に多い回答(約32%)でした。

N=702

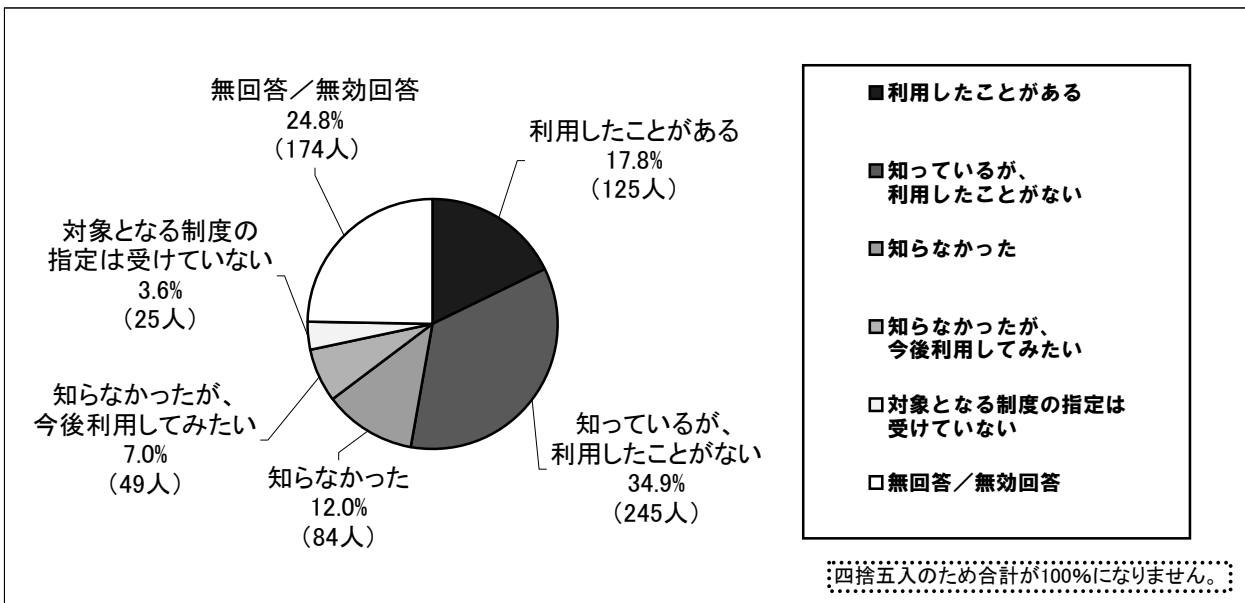


問9-1

横浜市では、緑地保全制度の指定を受けていて隣家や道路に接する樹林地を対象に、維持管理費の助成制度を設けています。その制度をご存知ですか。

約53%の方が助成制度をご存知でした。その一方、約19%の方が「知らなかった」と回答しています。

N=702

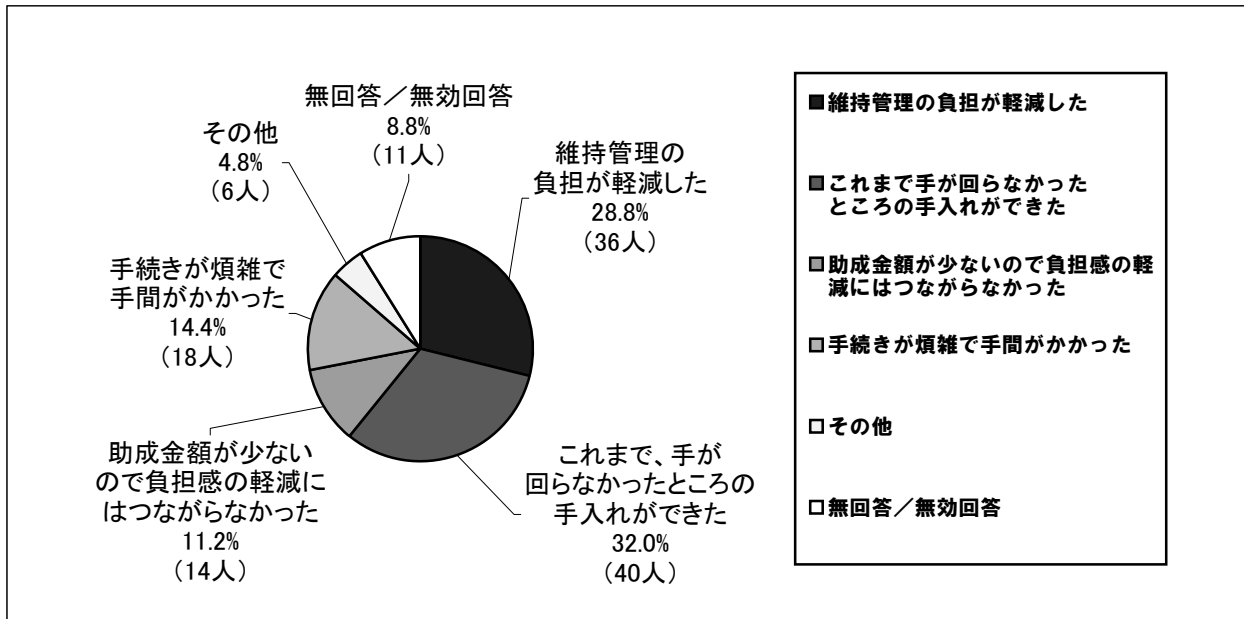


問9-2

問9-1で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。維持管理助成制度を利用した感想をお聞かせください。

「これまで手が回らなかったところの手入れができた」が最も多く(約32%)、「維持管理の負担が軽減した」が次に多い回答(約29%)でした。

N=125

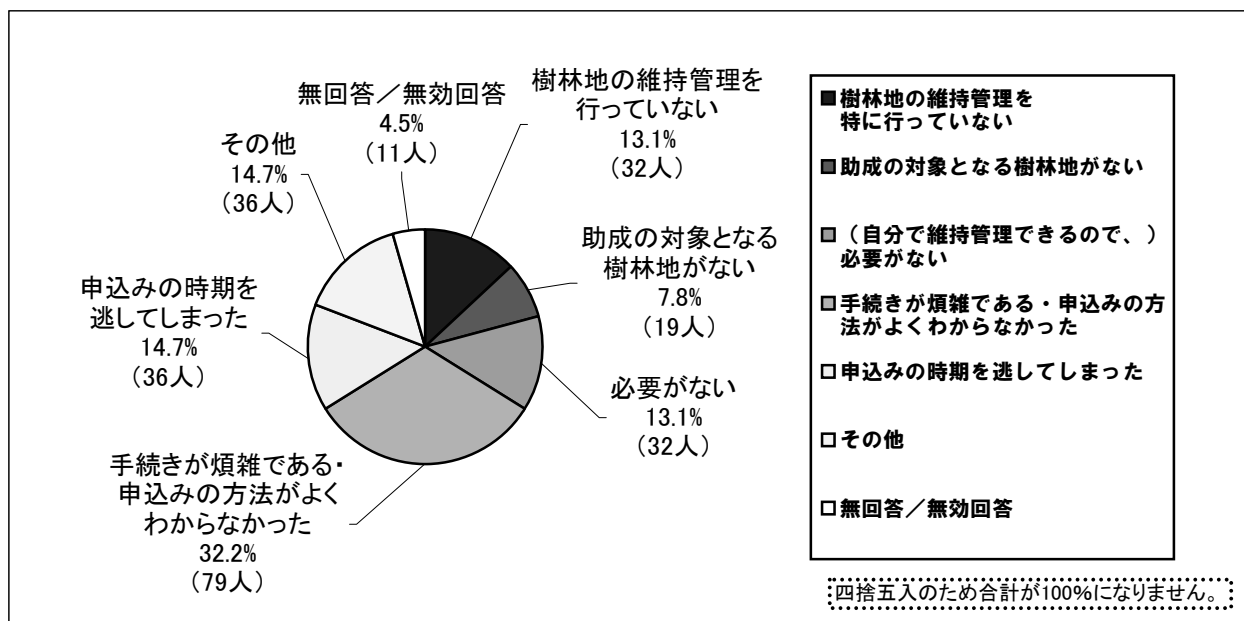


問9-3

問9-1で「知っているが、利用したことがない」と回答した方にお伺いします。維持管理助成制度を利用しない理由をお聞かせください。

「手続きが煩雑である・申込みの方法がよくわからなかった」が最も多く(約32%)、「申込みの時期を逃してしまった」が次に多い回答(約15%)でした。

N=245

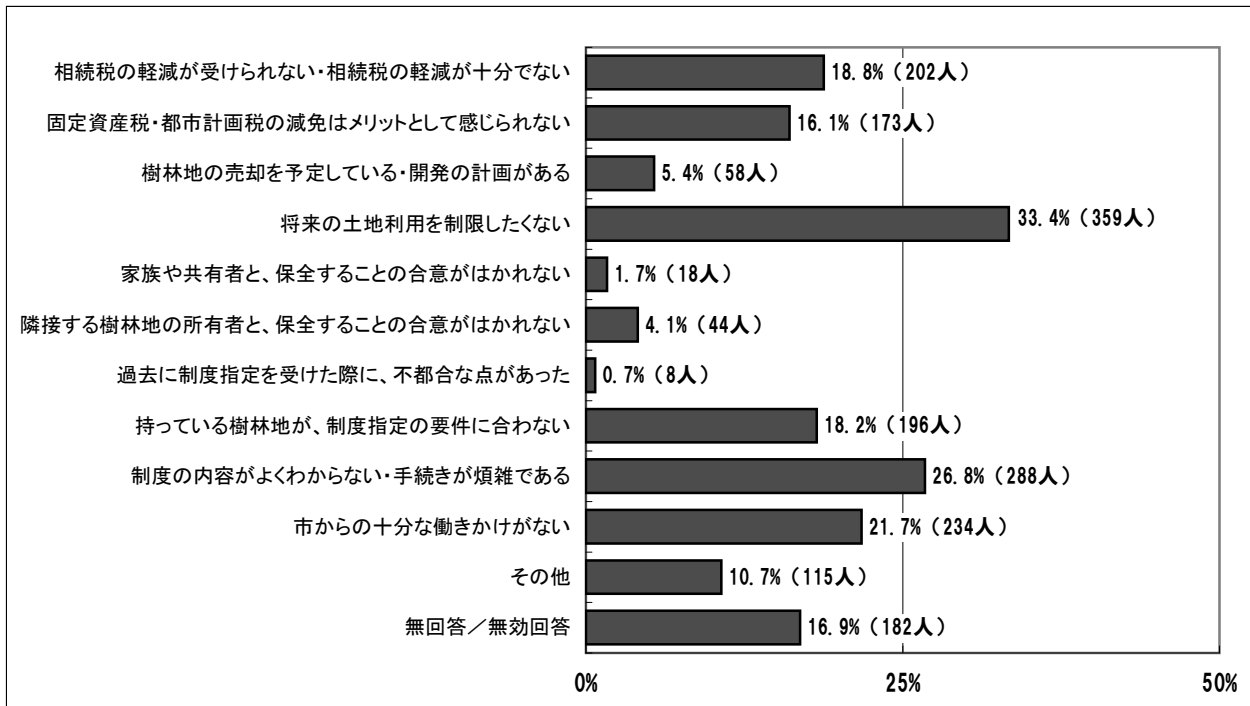


所有している樹林地が緑地保全制度の指定を受けていない方にお伺いします。

問10 指定を受けない理由をお聞かせください。【複数回答可】

「将来の土地利用を制限したくない」が最も多く(約33%)、「制度の内容がよくわからない・手続きが煩雑である」が次に多い回答(約27%)でした。

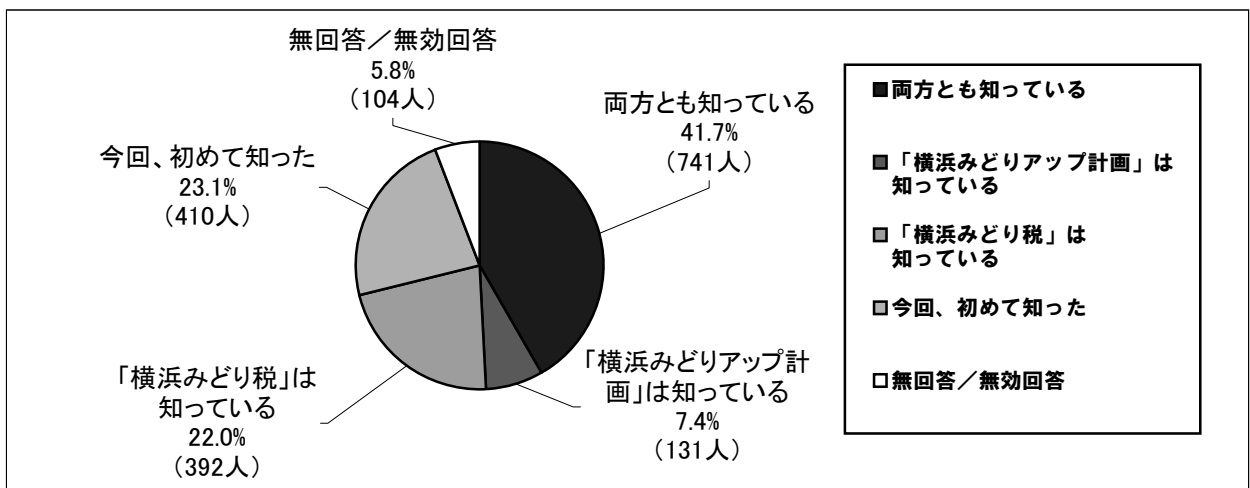
N=1,076



すべての方にお伺いします。

問11 横浜市では、「横浜みどり税」を導入し、「横浜みどりアップ計画」を推進しています。このことをご存じでしたか。

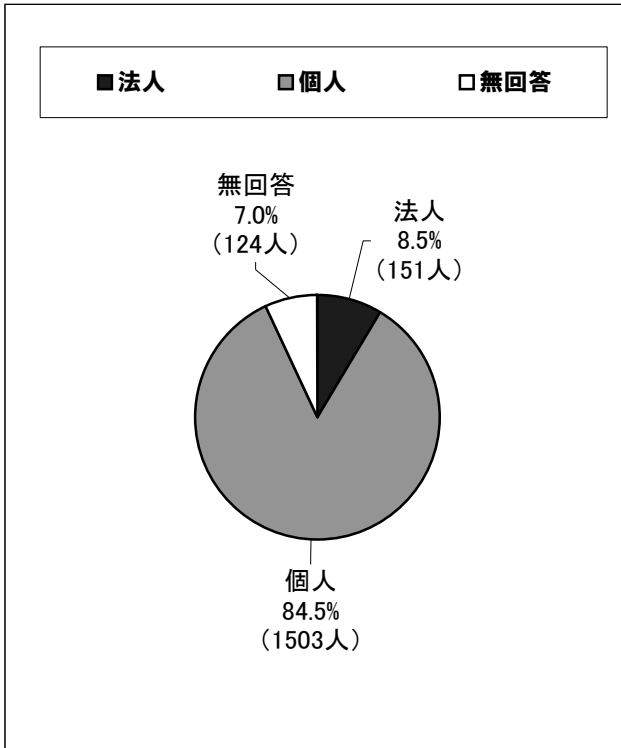
約49%の方が「横浜みどりアップ計画」をご存知でした。
約64%の方が「横浜みどり税」をご存知でした。



回答者属性

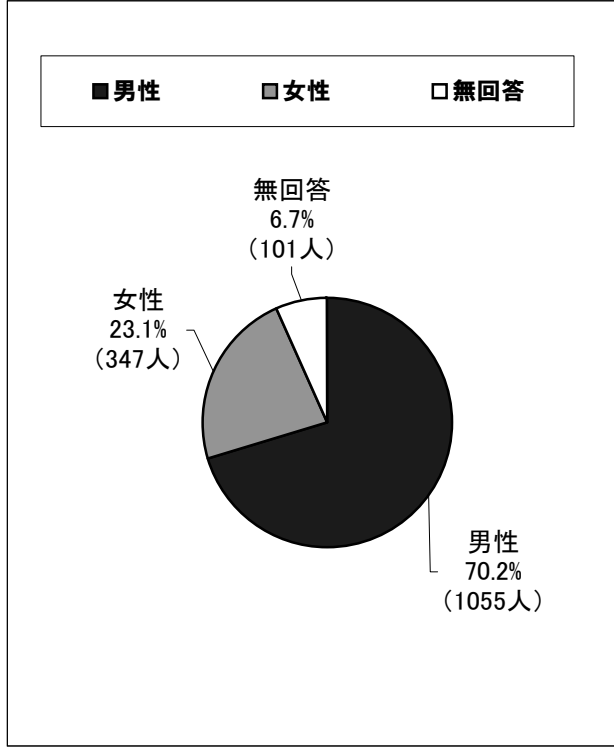
① 個人・法人区分

約85%が個人の所有で、約9%が法人の所有でした。



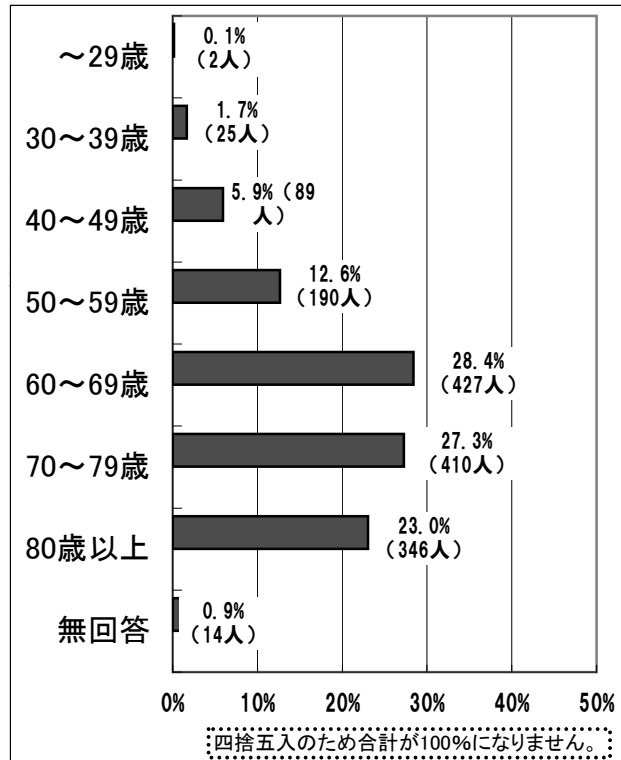
② 性別区分

個人で樹林地を所有する方のうち、約70%の方が男性で、約23%の方が女性でした。



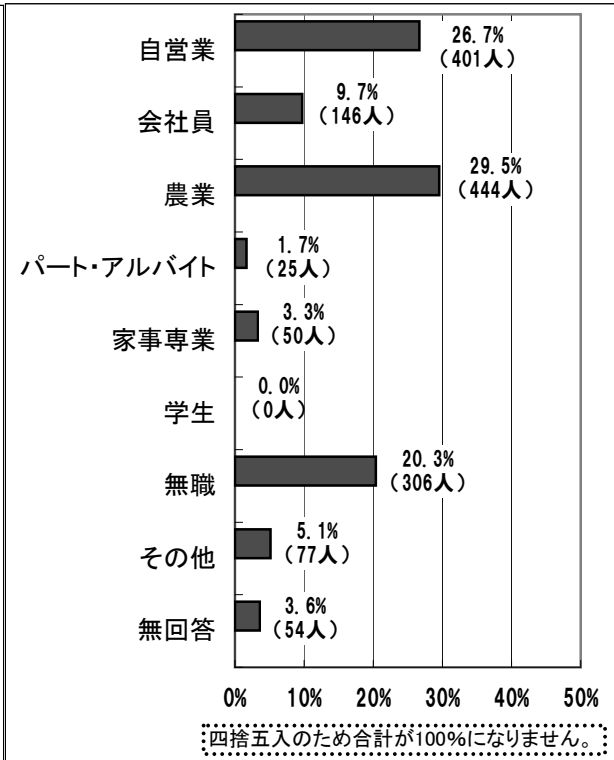
③ 年齢区分

個人で樹林地を所有する方のうち、「60～69歳」と回答した方が一番多(約28%)、60歳以上とお答えいただいた方が全体の約79%でした。



④ 職業区分

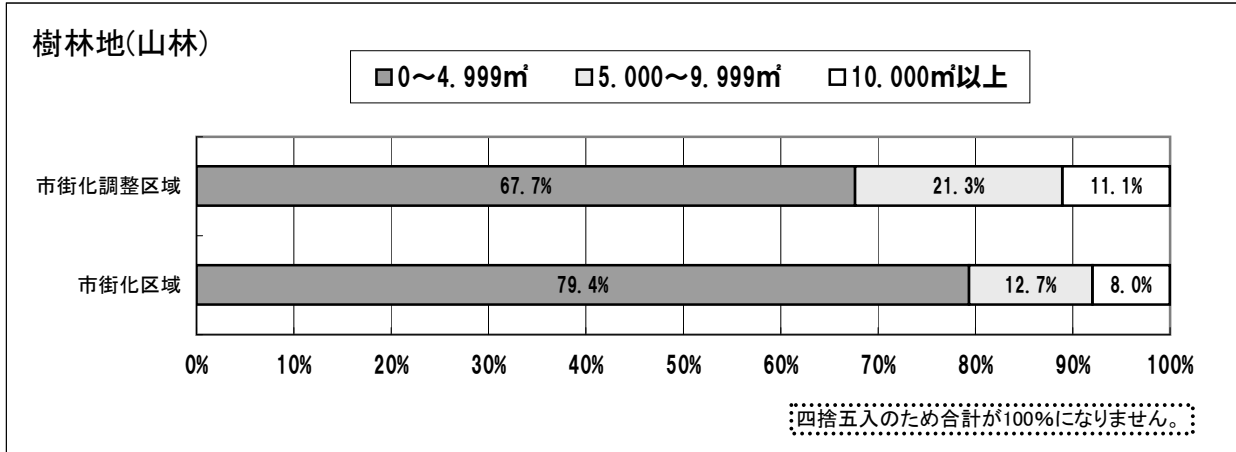
個人で樹林地を所有する方のうち、「農業」と回答した方が一番多く(約30%)、「自営業」が次に多い回答(約27%)でした



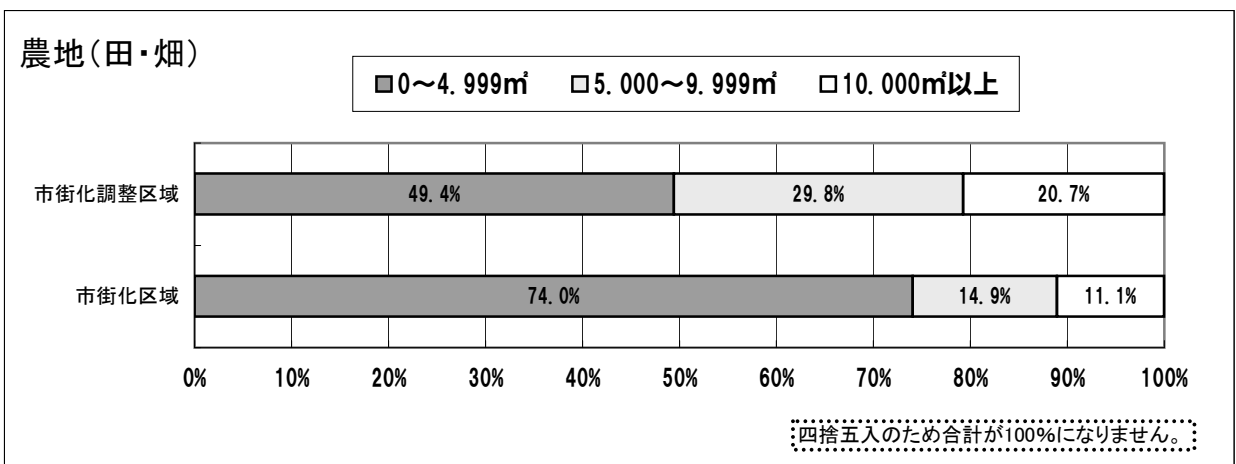
⑤

あなた（個人又は法人等）が所有する樹林地（地目：山林）の合計面積はどのくらいですか。また、所有する農地（地目：田、畑）についても、差支えなければ面積をお教えてください。

市街化調整区域、市街化区域ともに「0～4,999㎡」が最も多く、市街化調整区域では約68%、市街化区域では約79%の方が回答しています。

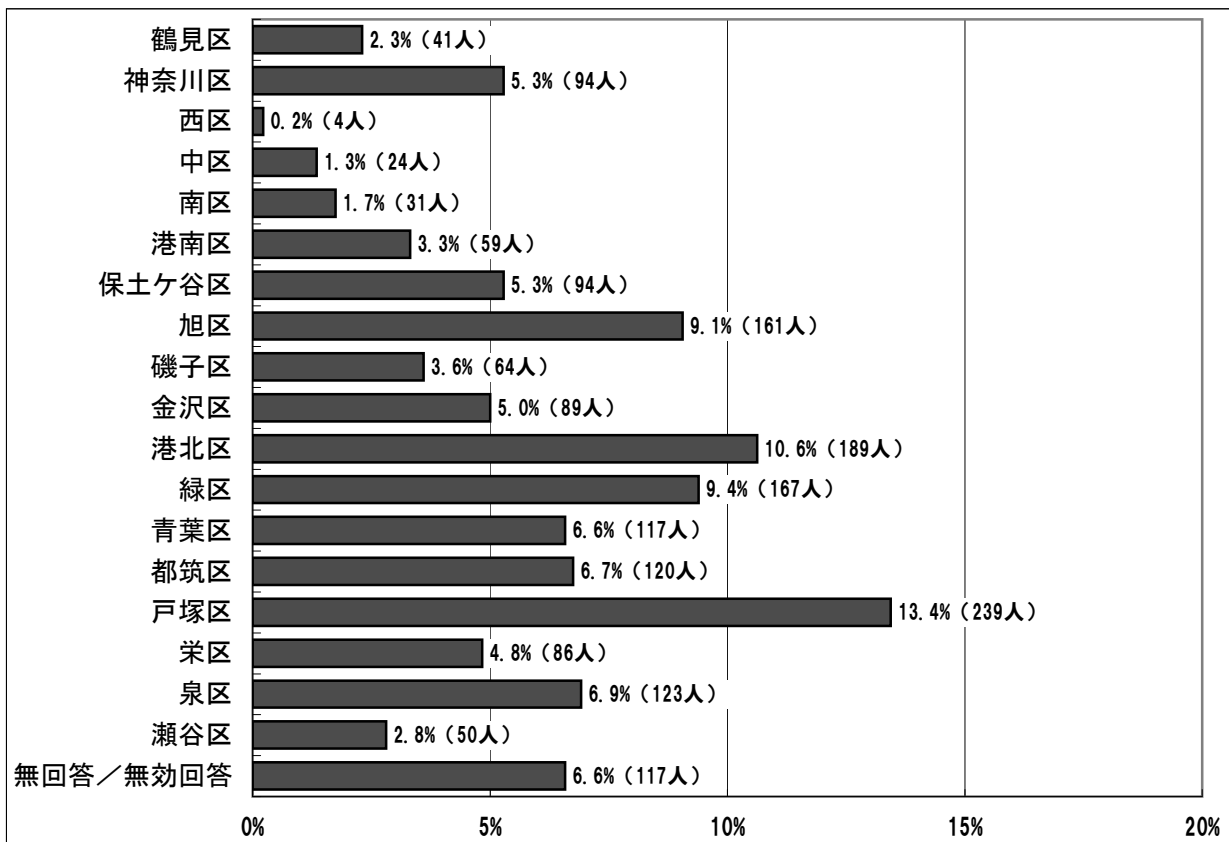


市街化調整区域、市街化区域ともに「0～4,999㎡」が最も多く、市街化調整区域では約49%、市街化区域では約74%の方が回答しています。



⑥ 所有する樹林地のある区をお答えください。【複数回答可】

「戸塚区」に樹林地を所有していると回答した方が最も多く(約13%)、「港北区」が次に多い回答(約11%)でした。

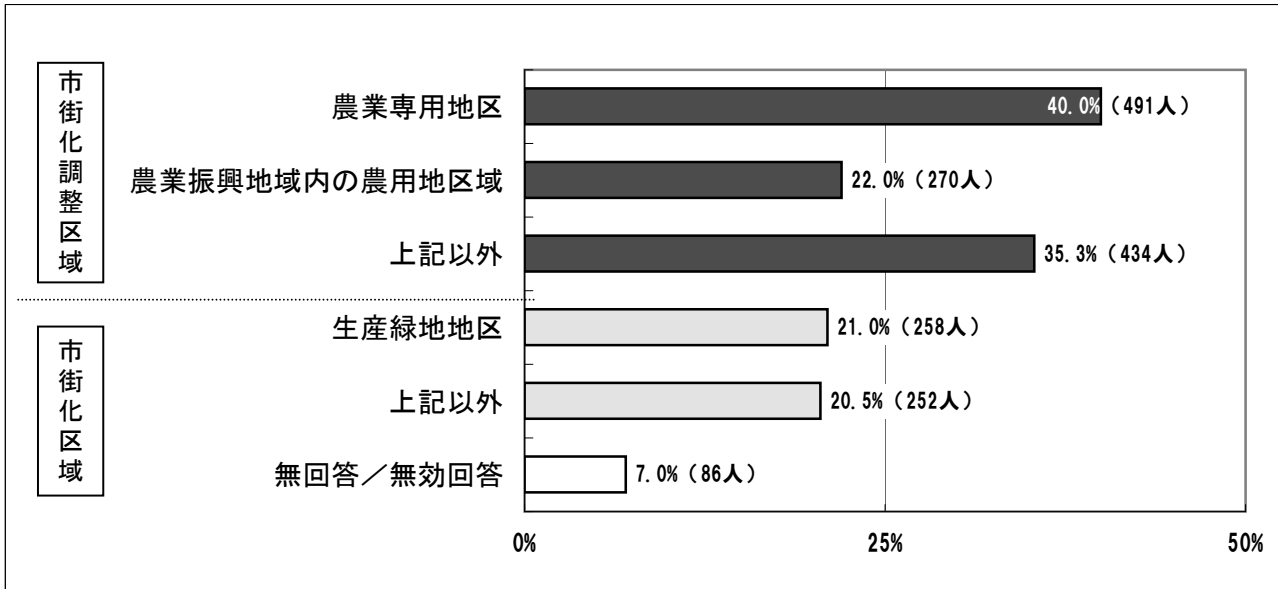


(2) 農地所有者

問1

次の土地利用区分のうち、あなたが所有する農地が該当するものがありますか。【複数回答可】

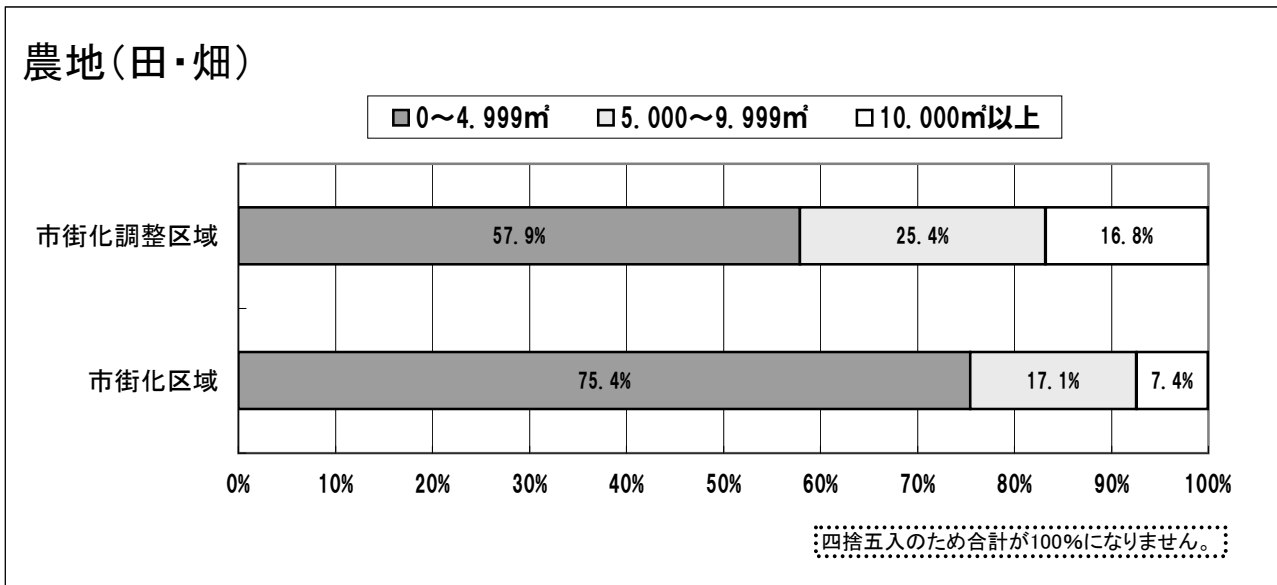
市街化調整区域では、「農業専用地区」に所有されている方が最も多く(約40%)、市街化区域では、「生産緑地地区」と「それ以外」に所有されている方がほぼ同じ(約21%)でした。



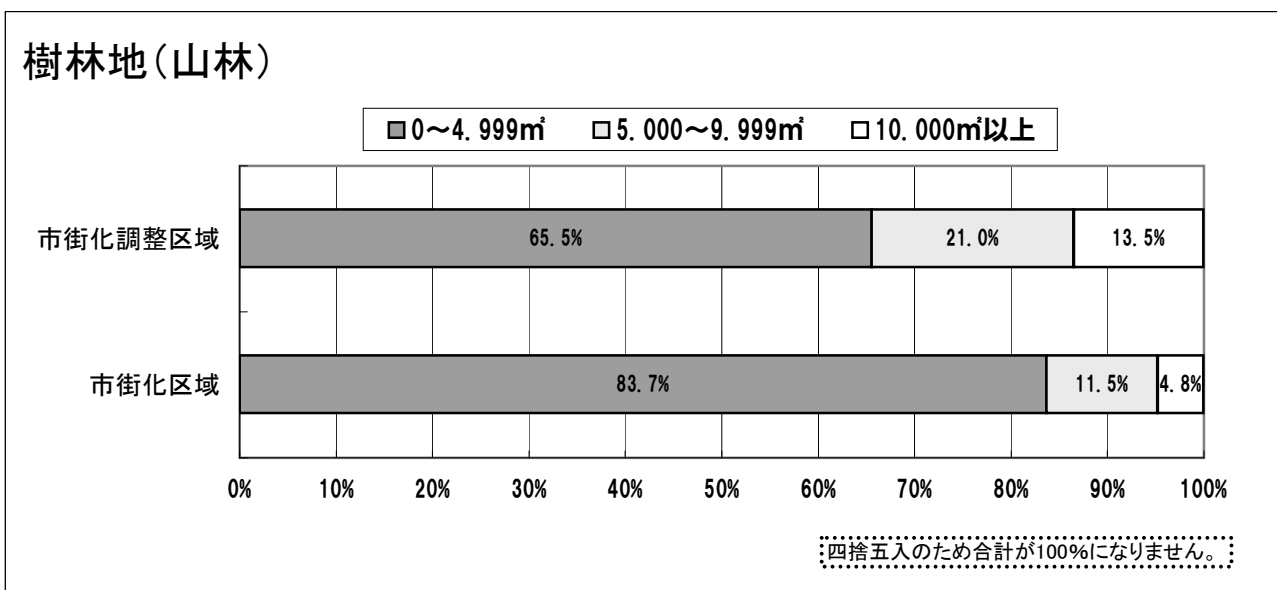
問2

あなたが所有する農地（地目：田、畑）や樹林地（地目：山林）の面積はどのくらいですか。また、所有する農地の所在地をお教えてください。

市街化調整区域、市街化区域ともに「0～4,999㎡」が最も多く、市街化調整区域では約58%、市街化区域では約75%の方が回答しています。

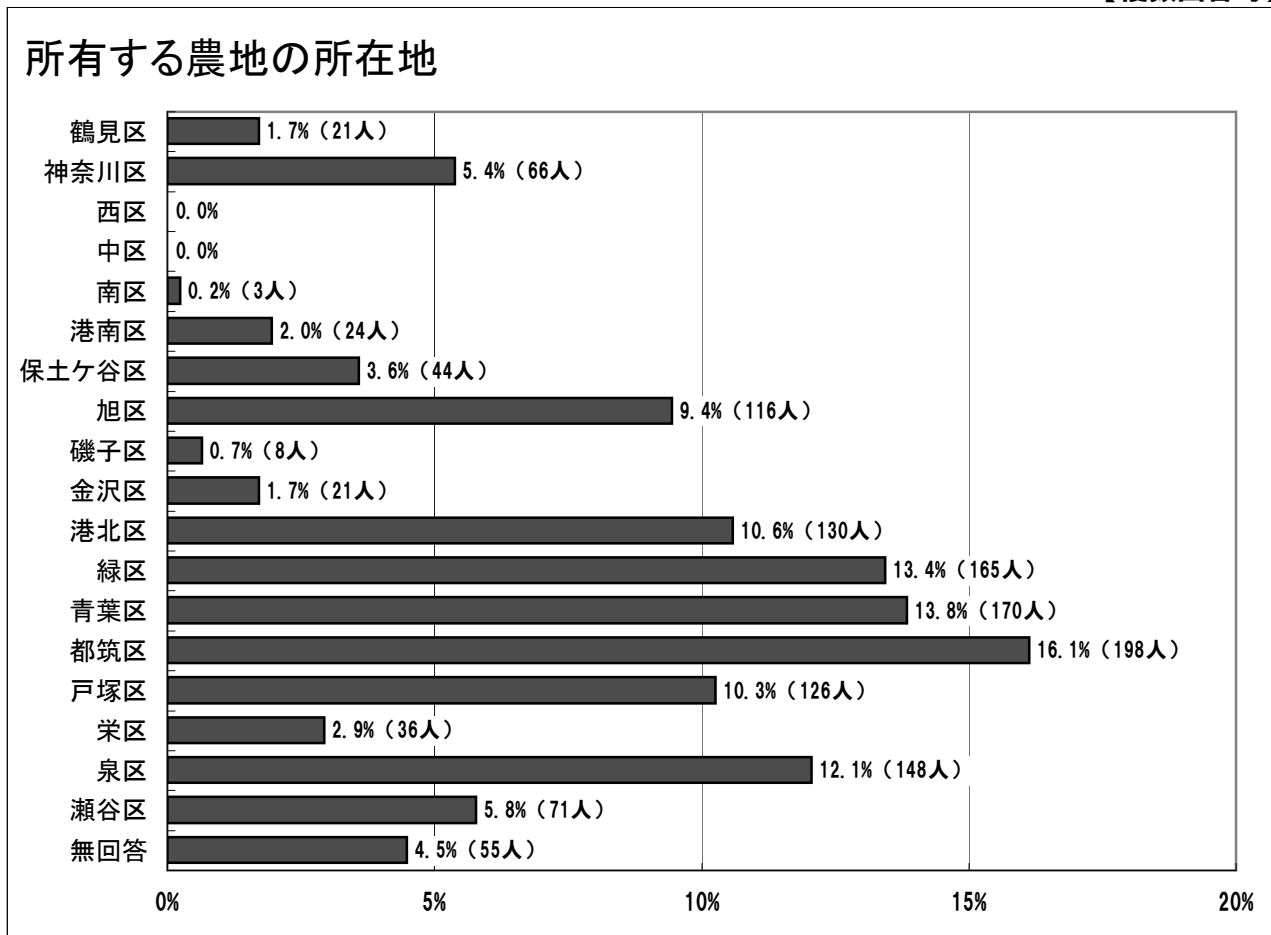


市街化調整区域、市街化区域ともに「0～4,999㎡」が最も多く、市街化調整区域では約66%、市街化区域では約84%の方が回答しています。



「都筑区」に農地を所有していると回答した方が最も多く(約16%)、「青葉区」が次に多い回答(約14%)でした。

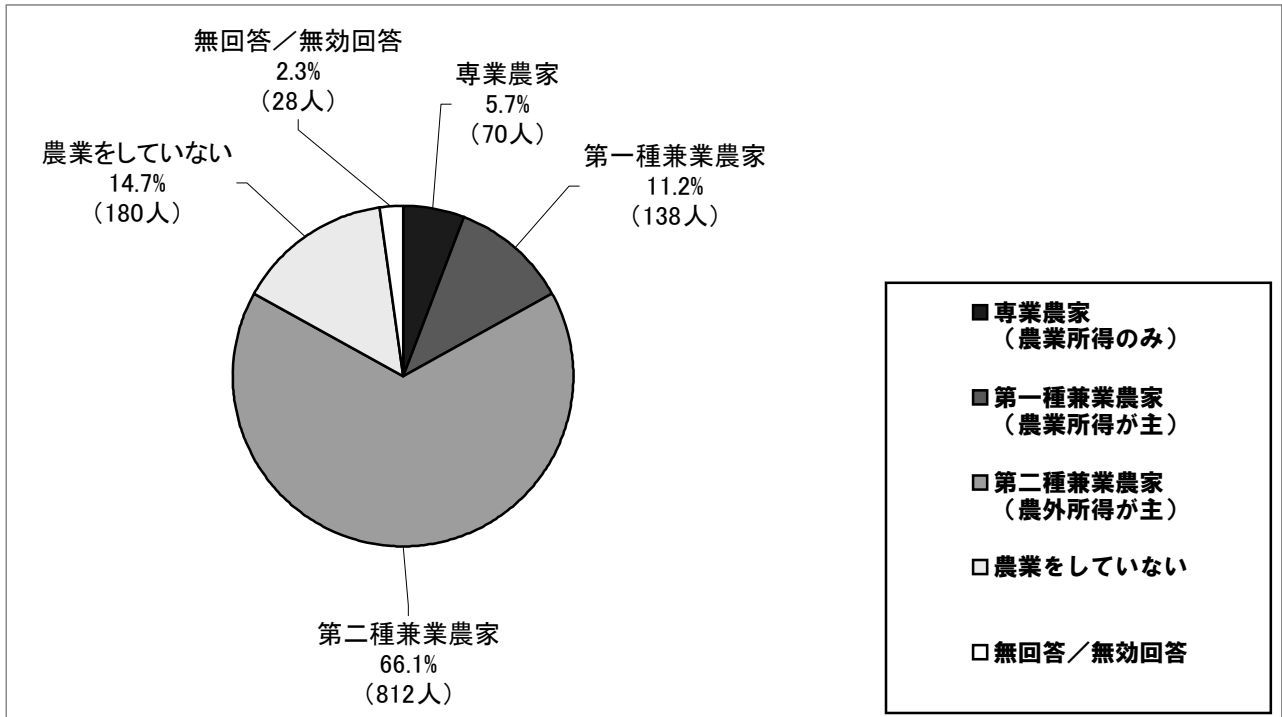
【複数回答可】



問3

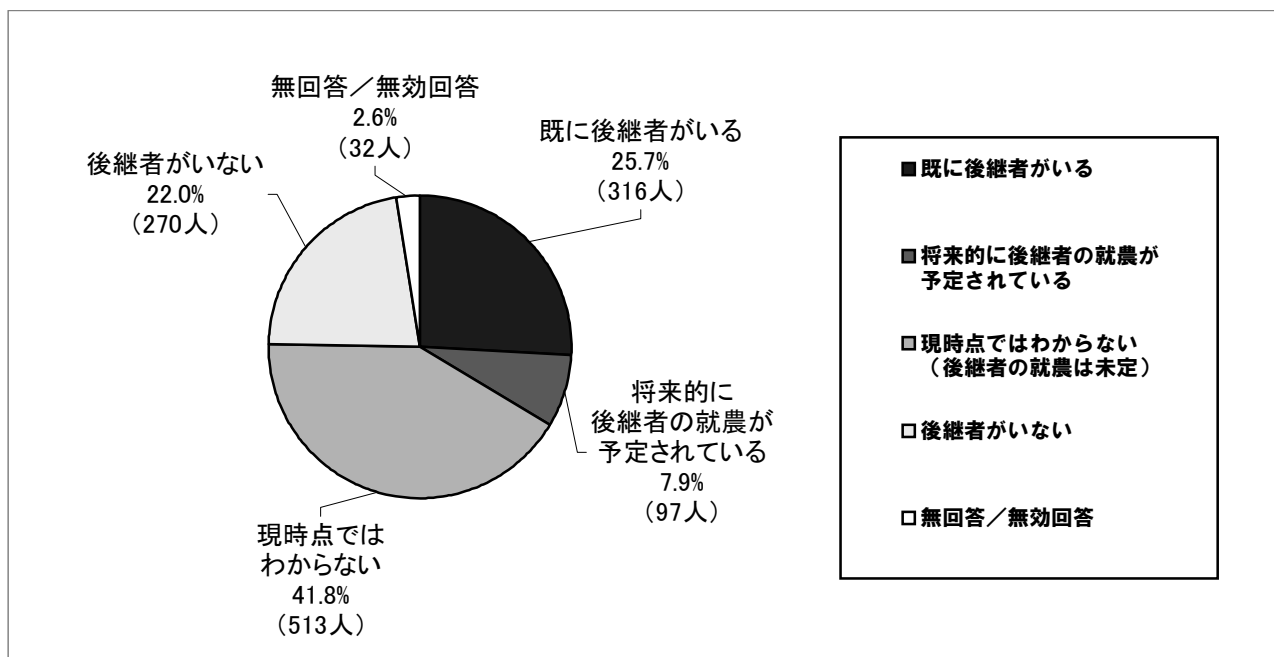
あなたの農業経営の状況についてあてはまるものを1つお選びください。

農業以外の所得が主となる「第二種兼業農家」が最も多く(約66%)、「農業をしていない」が次に多い回答(約15%)でした。

**問4**

あなたの農業後継者についてあてはまるものを1つお選びください。

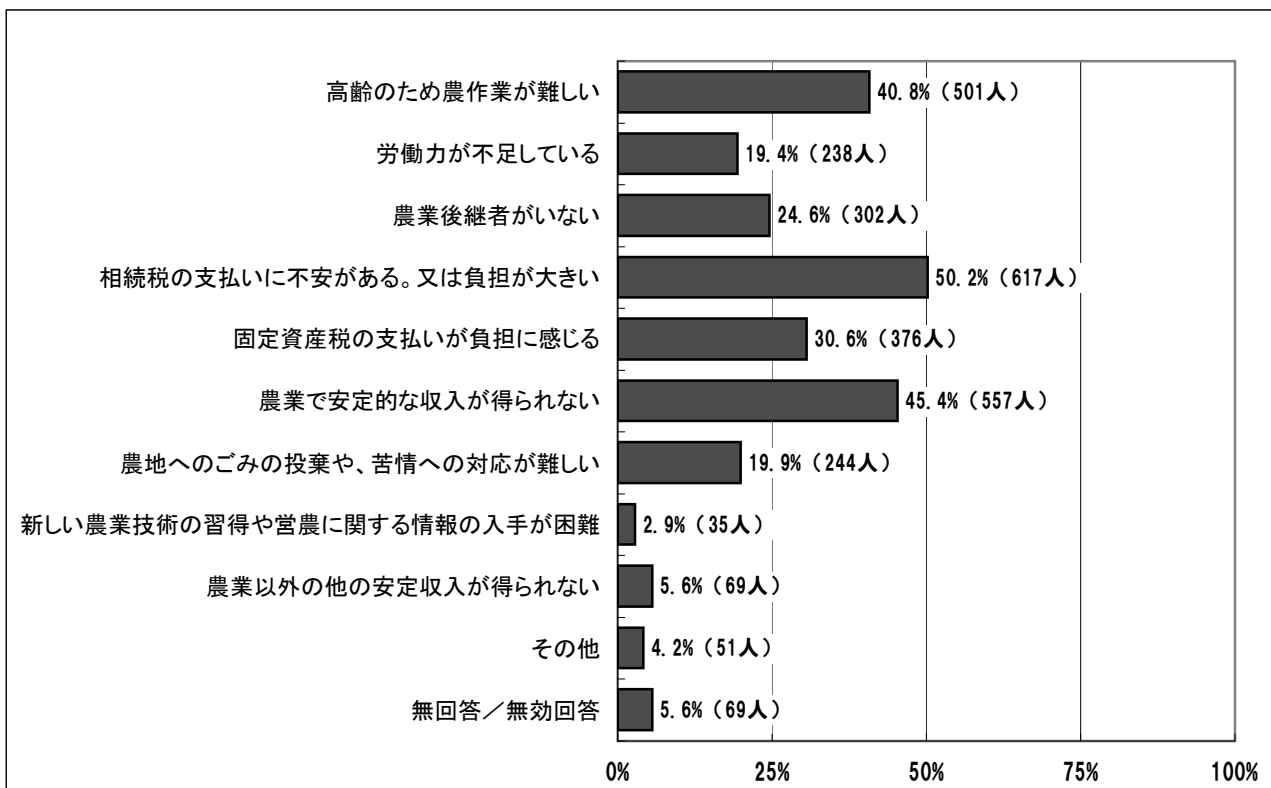
約34%の方が「既に後継者がいる」「将来的に後継者の就農が予定されている」と回答しています。また、約42%の方が「現時点ではわからない」、約22%の方が「後継者がいない」と回答しています。



問5

農地を所有し耕作を続ける上で、あなたが特に課題と思うことは何ですか。
【3つまで回答可】

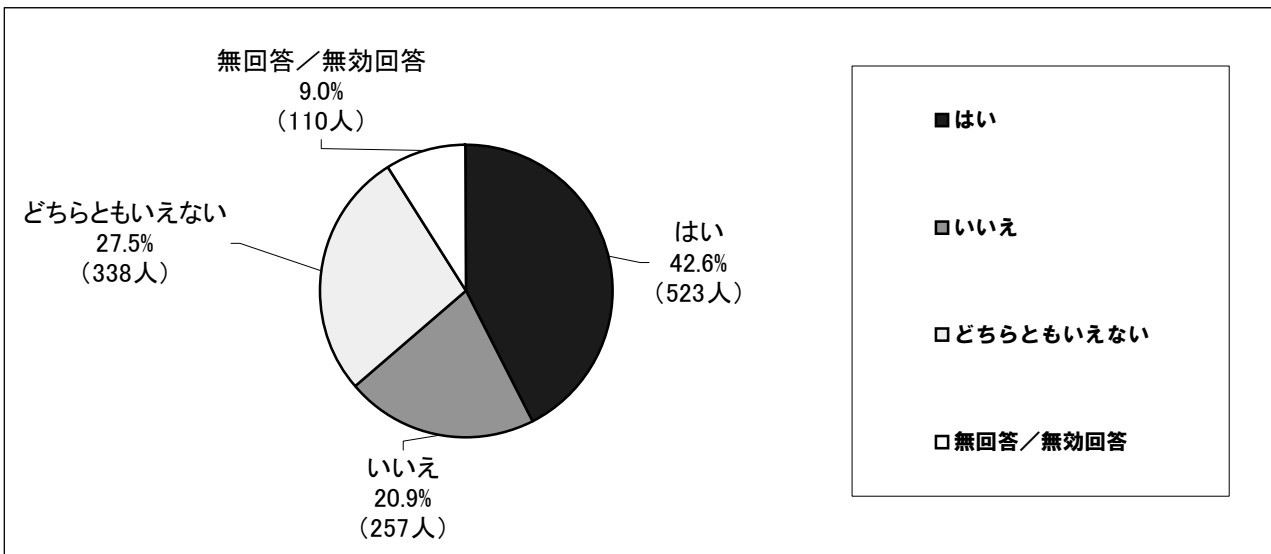
「相続税の支払いに不安がある。又は負担が大きい」が最も多く(約50%)、「農業で安定的な収入が得られない」が次に多い回答(約45%)でした。



問6-1

あなたは、今後も農業を続けていきたいですか。

約43%の方が「はい」と回答しています。
また、約21%の方が「いいえ」、約28%の方が「どちらともいえない」と回答しています。

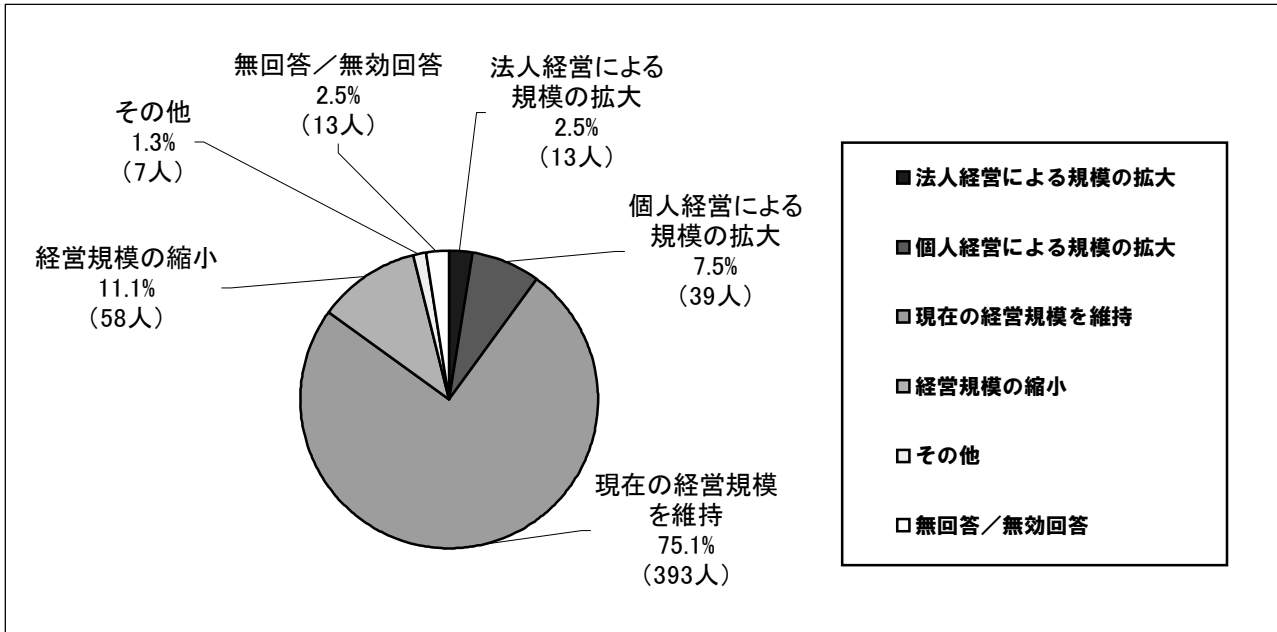


問6-2

問6-1で「はい」と回答した方に伺います。
あなたは、今後の営業規模についてどのようにお考えですか。

「現在の経営規模を維持」が最も多く(約75%)、「経営規模の縮小」が次に多い回答(約11%)でした。

N=523



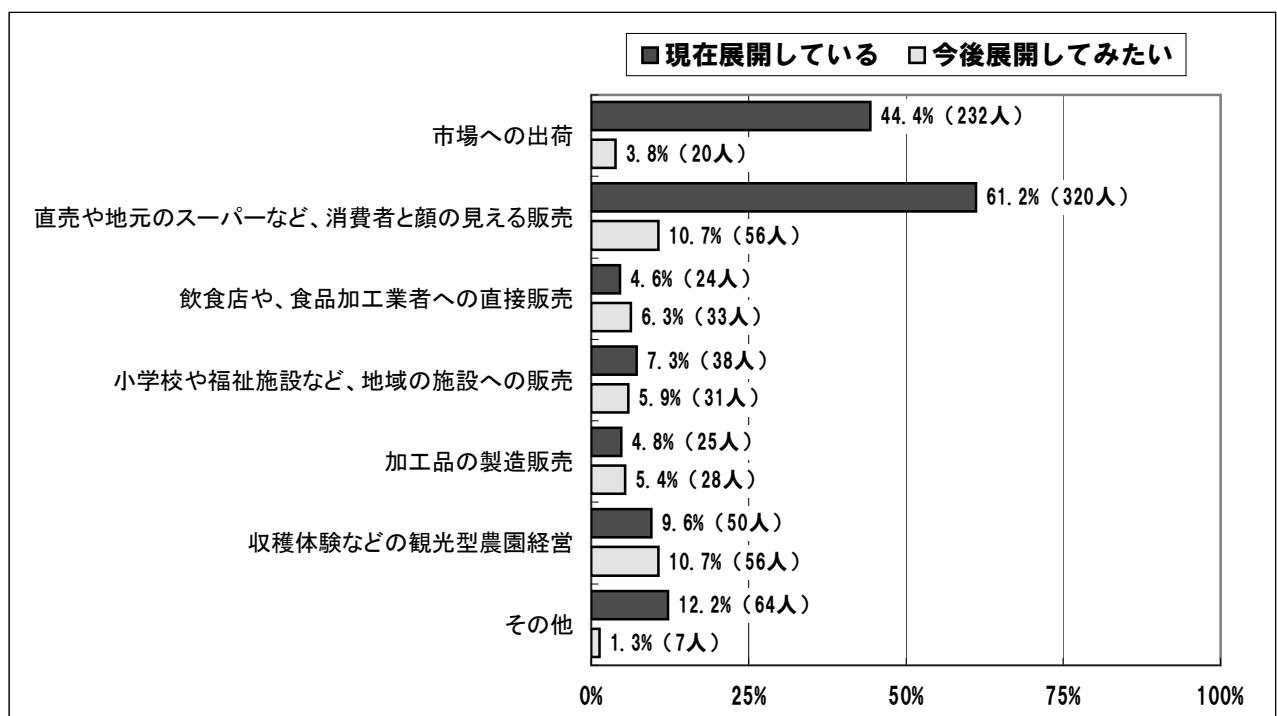
問6-3

問6-1で「はい」と回答した方に伺います。
あなたは、現在どのような農業経営をされていますか。また、今後、どのような農業を展開したいとお考えですか。【複数回答可】

現在展開していることは、「直売や地元のスーパーなど、消費者と顔の見える販売」が最も多く(約61%)、「市場への出荷」が次に多い回答(約44%)でした。

今後展開してみたいことは、「直売や地元のスーパーなど、消費者と顔の見える販売」と「収穫体験などの観光型農園経営」が最も多い回答(約11%)でした。

N=523

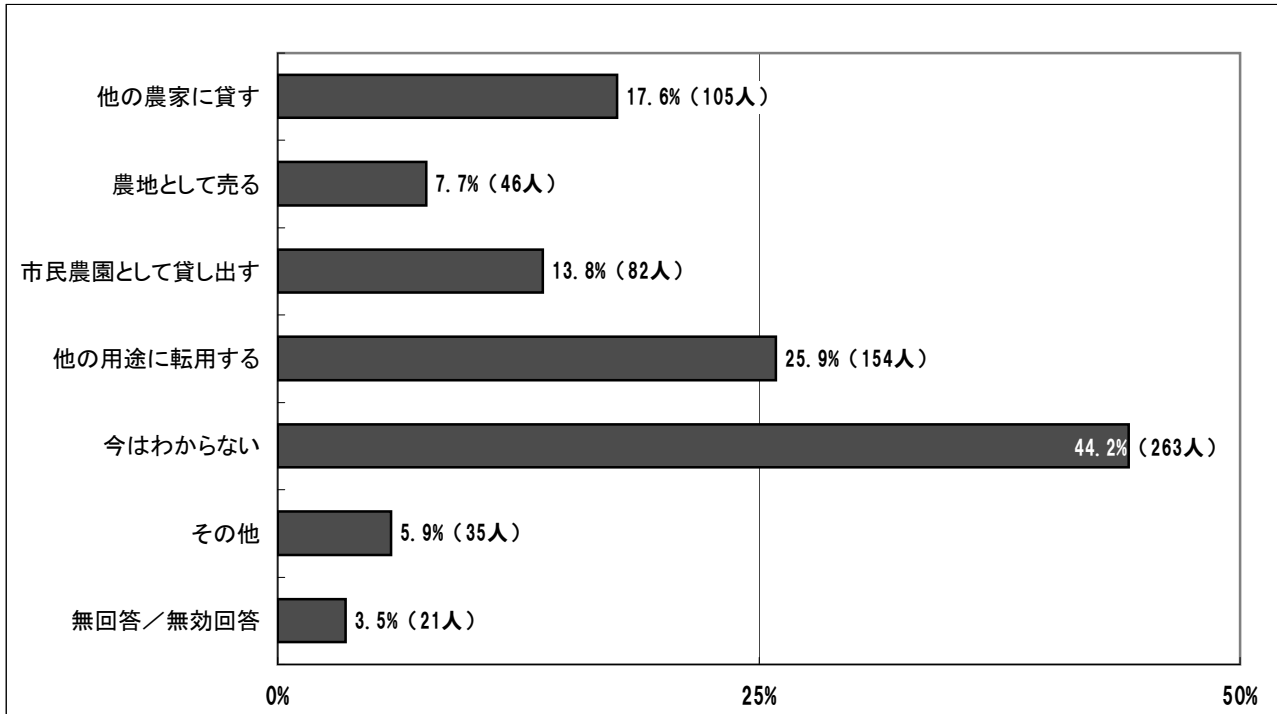


問6-4

問6-1で「いいえ」または「どちらともいえない」と回答した方に伺います。あなたが農業を続けていくことができなくなった場合、所有する農地はどのように管理しますか。【複数回答可】

「今はわからない」が最も多く(約44%)、「他の用途に転用する」が次に多い回答(約26%)でした。

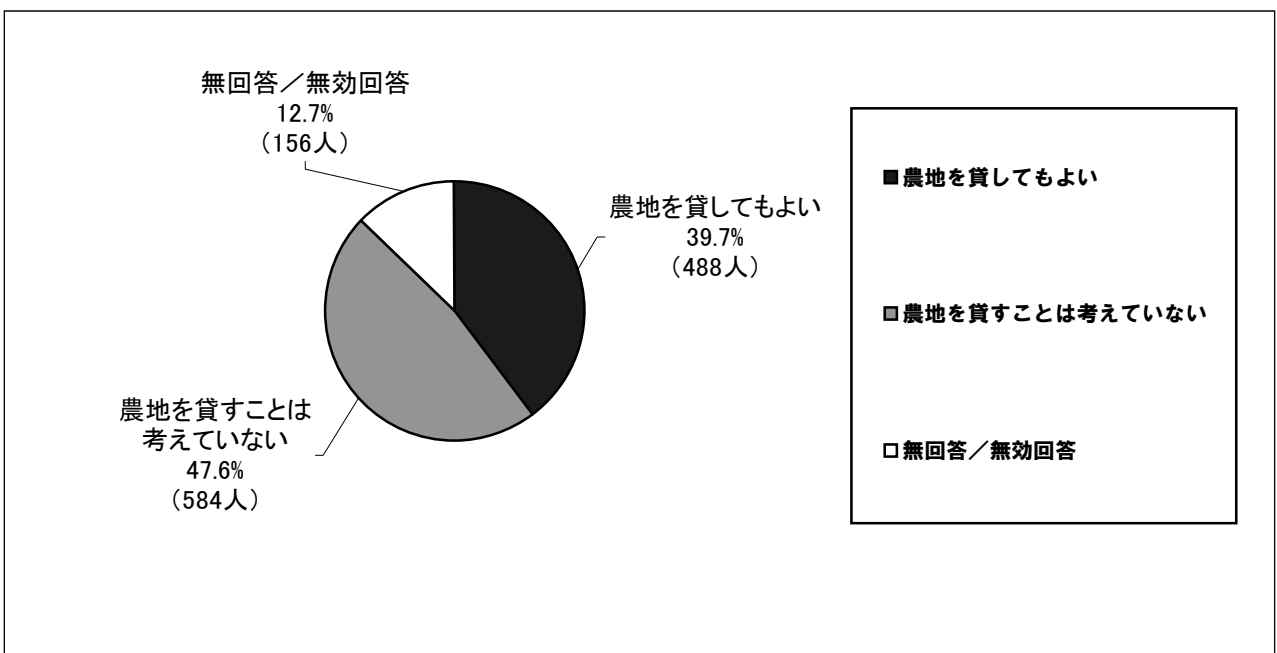
N=595



問7-1

耕しきれない農地の有効活用のため、農地を他の農業者に貸すことについて、あなたはどのようにお考えですか。

約40%の方が「農地を貸してもよい」と回答しています。その一方、約48%の方が「農地を貸すことは考えていない」と回答しています。

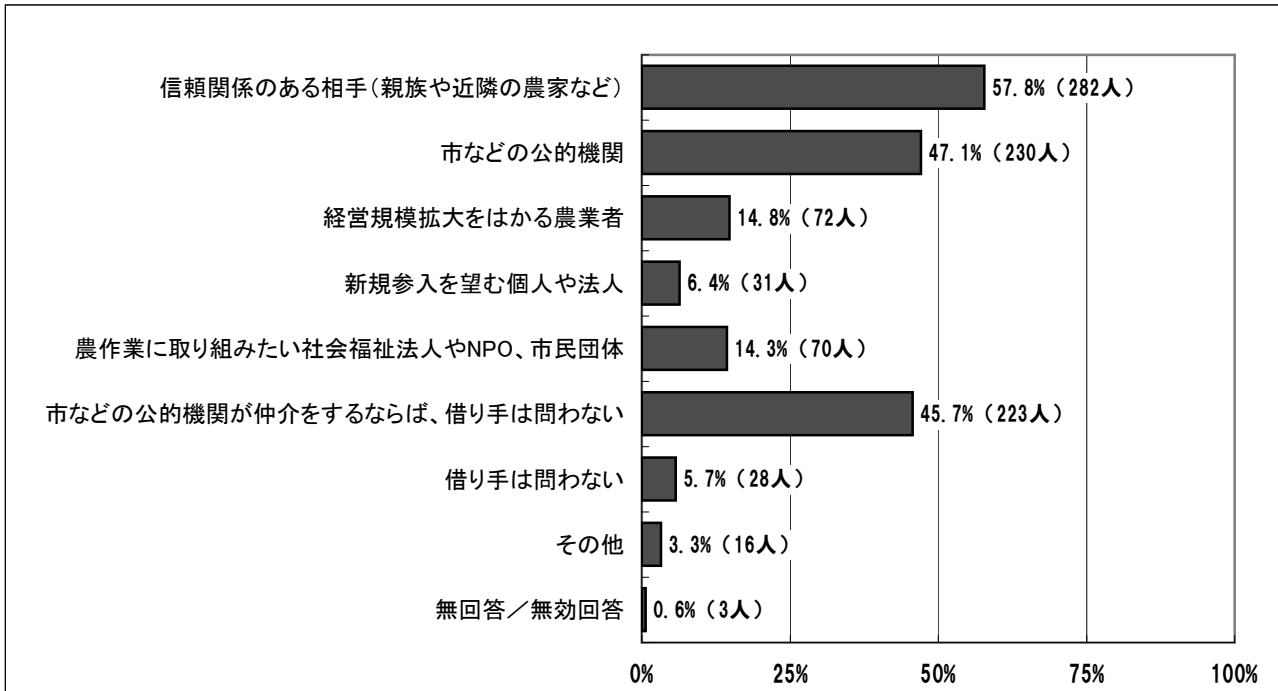


問7-2

問7-1で「農地を貸してもよい」と回答した方に伺います。
農地を貸す相手について、どのようにお考えですか。【複数回答可】

「信頼関係のある相手(親族や近隣の農家など)」が最も多く(約58%)、「市などの公的機関」(約47%)
や「市などの公的機関が仲介をするならば、借り手は問わない」(約46%)がそれに次いで多い回答でした。

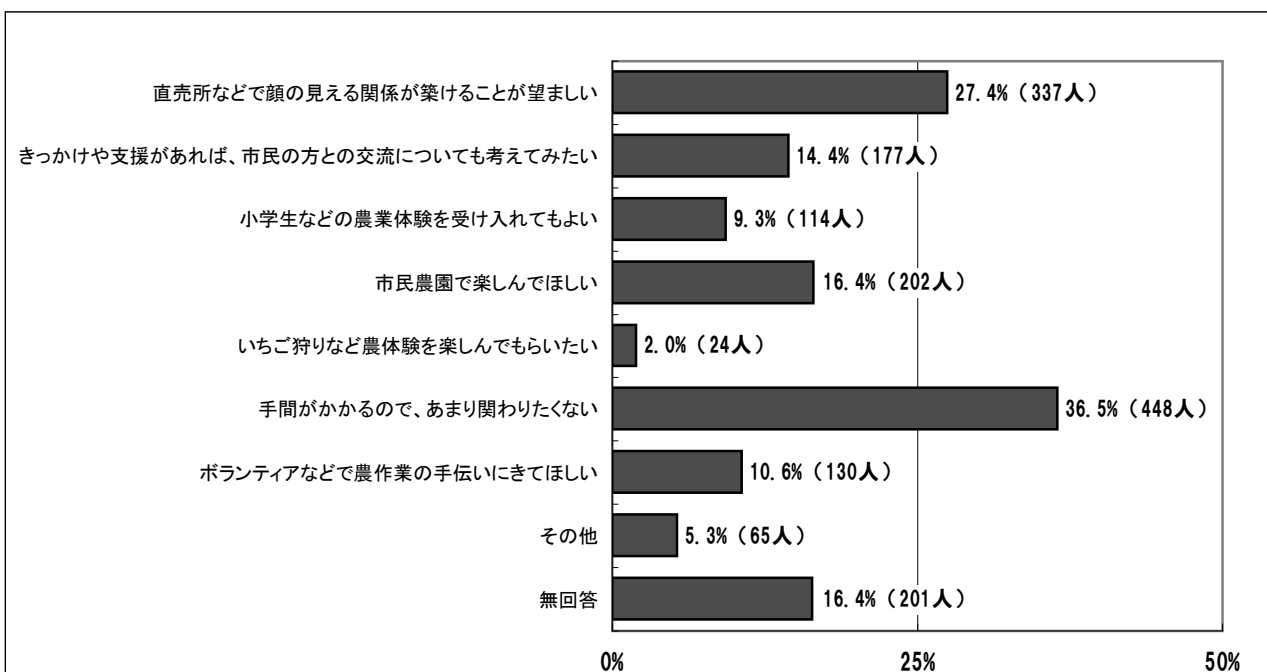
N=488



問8

「農」への関心をもつ市民が増えています。あなたは、市民と交流することについてどのようにお考えですか。【複数回答可】

「手間がかかるので、あまり関わりたくない」が最も多く(約37%)、「直売所などで顔の見える関係が築けることが望ましい」(約27%)が次に多い回答でした。

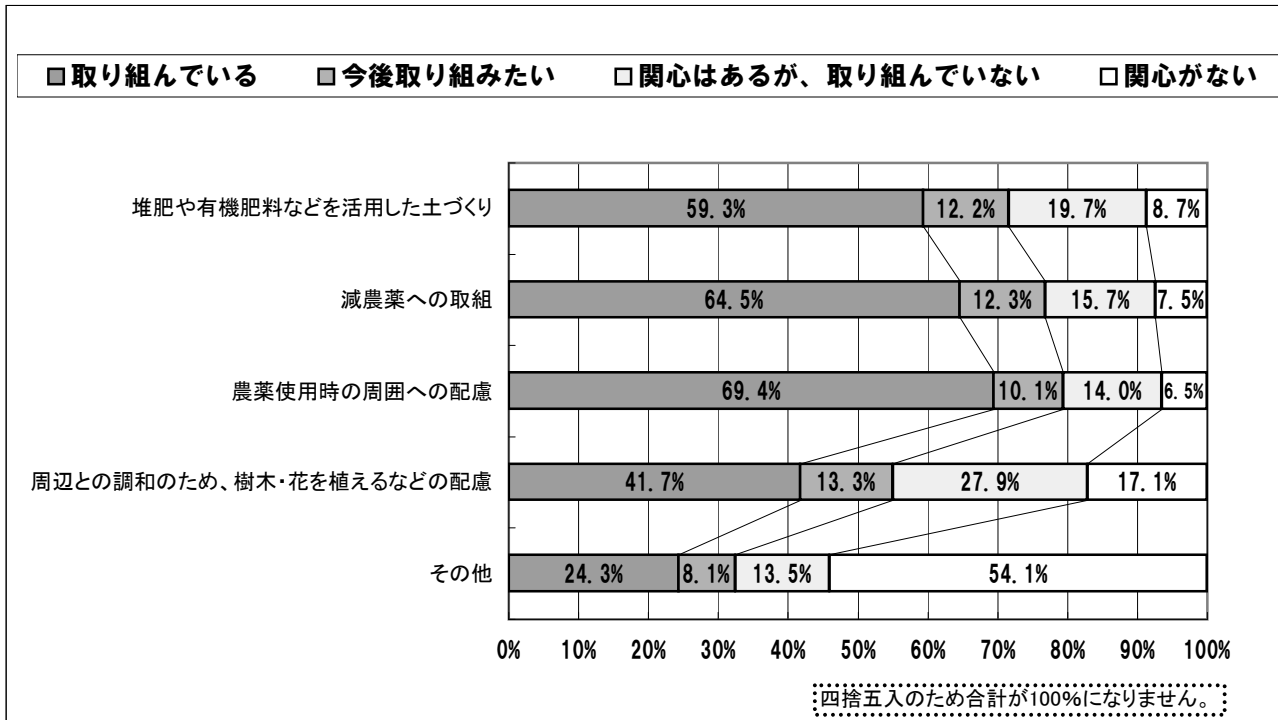


問9

環境に配慮した農業の取組が広まりつつあります。
あなたが取り組んでいることや、今後取り組みたいことはありますか。

現在取り組んでいることでは、「農業使用時の周囲への配慮」が最も多く(約69%)、「減農薬への取組」が次に多い回答(約65%)でした。

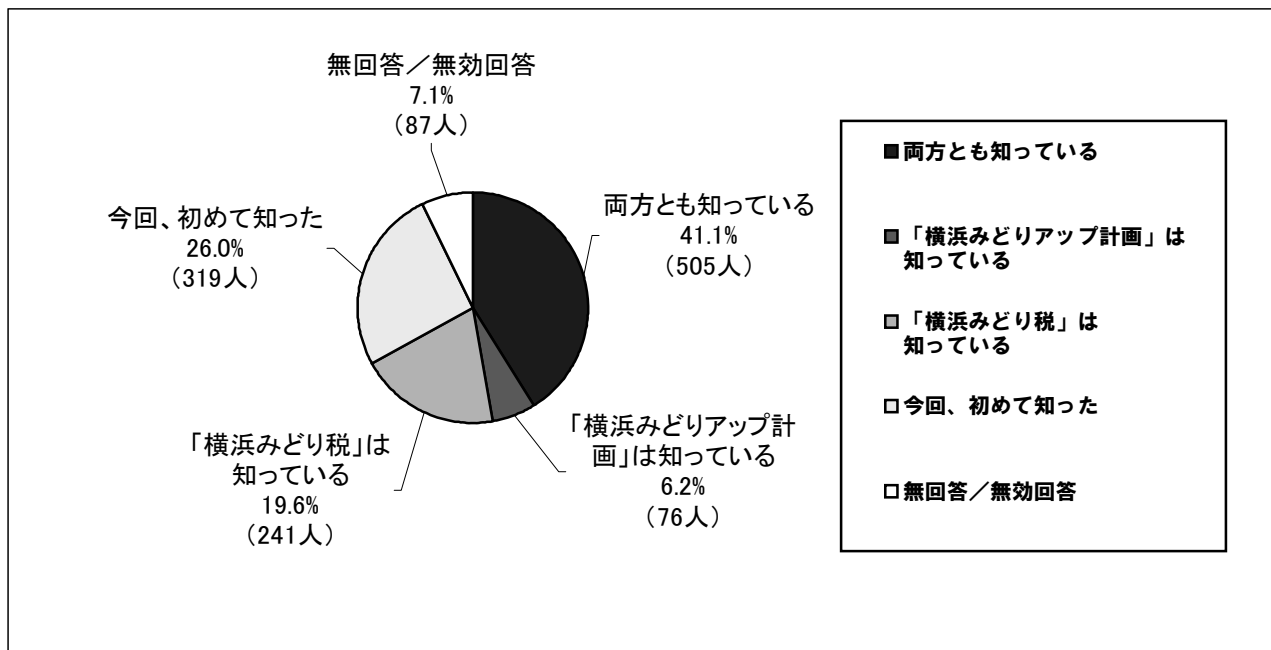
今後取り組みたいことでは、「周辺との調和のため、樹木・花を植えるなどの配慮」が最も多い回答(約13%)でした。



問10

横浜市では、「横浜みどり税」を導入し、「横浜みどりアップ計画」を推進しています。このことをご存じでしたか。

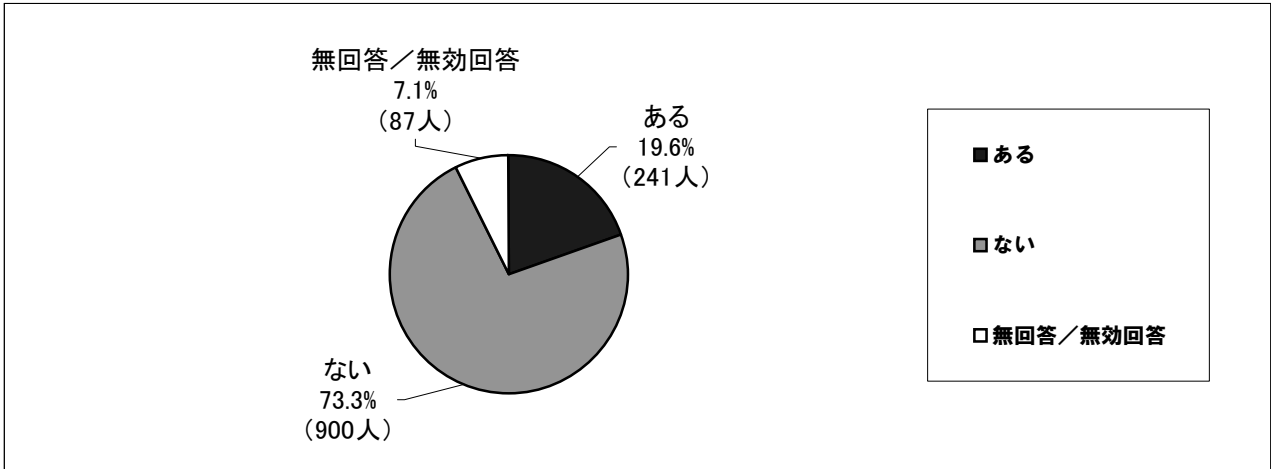
約47%の方が「横浜みどりアップ計画」をご存知でした。
約61%の方が「横浜みどり税」をご存知でした。



問11-1

「みどリアップ計画（新規・拡充施策）」の事業を利用したことがありますか。

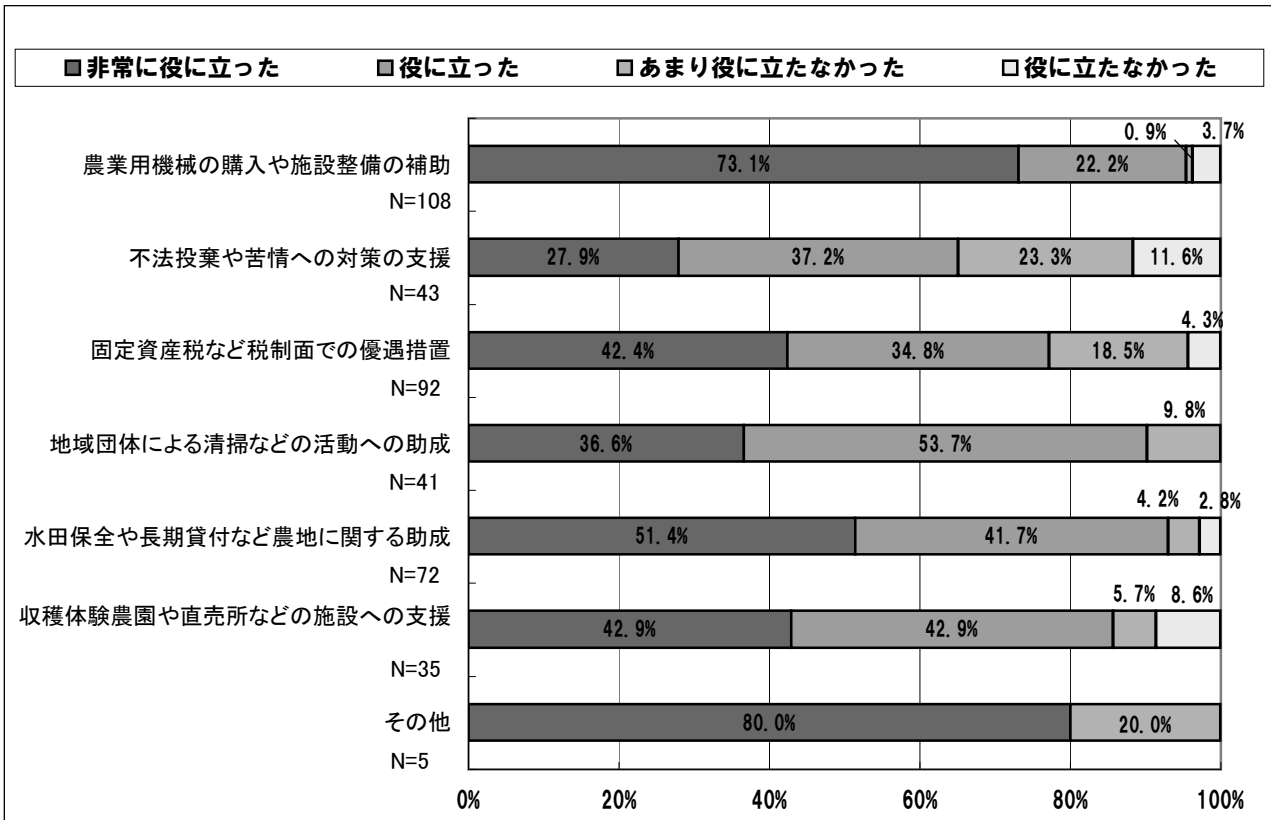
約20%の方が「ある」と回答しています。
一方、約73%の方が「ない」と回答しています。



問11-2

問11-1で、みどリアップ計画の事業を利用したことがあると回答した方に伺います。これまでに利用したことのある事業の種類と、利用後の印象についてお答えください。

利用後の印象で、「非常に役に立った」「役に立った」と回答した割合は、「農業用機械の購入や施設整備の補助」が最も多く(約95%)、「水田保全や長期貸付など農地に関する助成」が次に多い回答(約93%)でした。

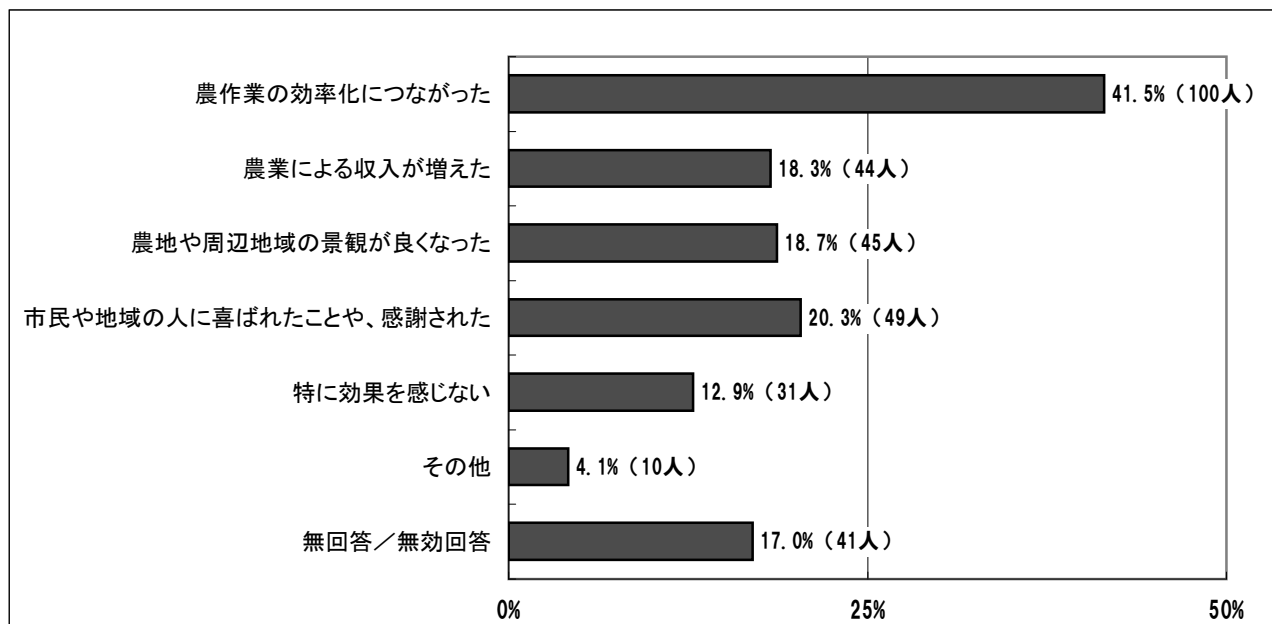


問11-3

問11-1で「ある」と回答した方に伺います。
事業を利用したことで、どのような効果がありましたか。【3つまで回答可】

「農作業の効率化につながった」が最も多く(約42%)、「市民や地域の人に喜ばれたことや、感謝された」が次に多い回答(約20%)でした。

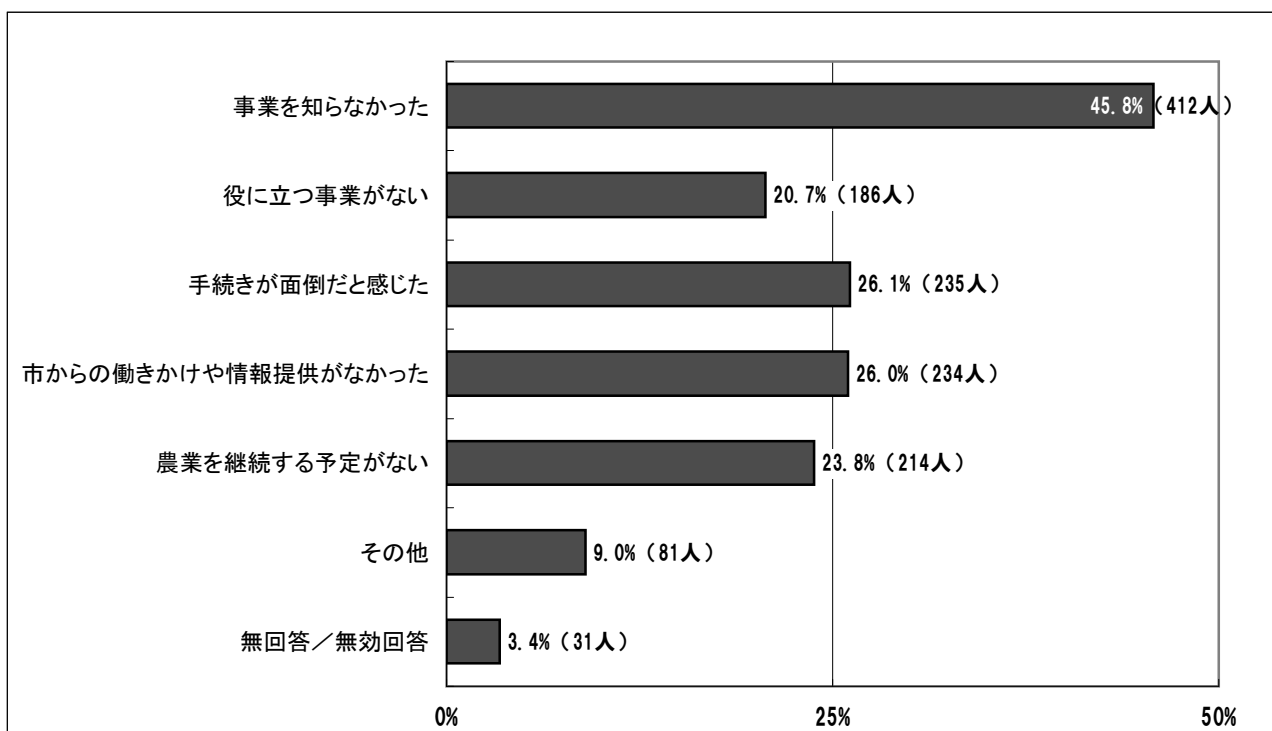
N=241

**問11-4**

問11-1で「ない」と回答した方に伺います。
「みどりアップ計画(新規・拡充施策)」の事業を利用しなかったのは、なぜですか。【3つまで回答可】

「事業を知らなかった」が最も多く(約46%)、「手続きが面倒だと感じた」と「市からの働きかけや情報提供がなかった」が次に多い回答(約26%)でした。

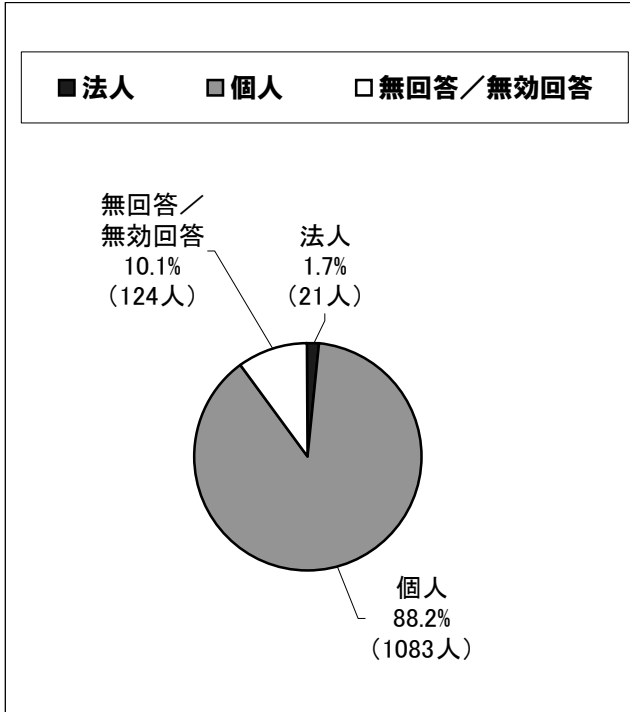
N=900



回答者属性

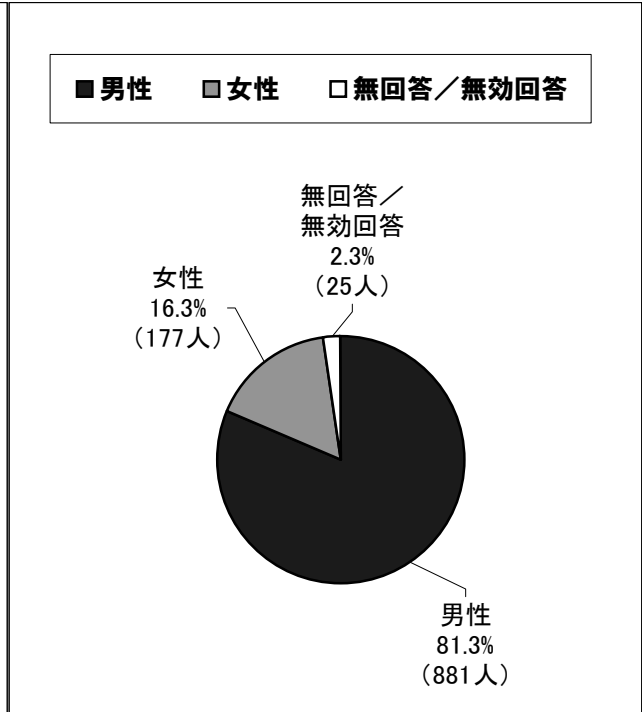
① 個人・法人区分

約88%が個人の所有で、約2%が法人の所有でした。



② 性別区分

個人で農地を所有する方のうち、約81%の方が男性で、約16%の方が女性でした。



③ 年齢区分

個人で農地を所有する方のうち、「60～69歳」と回答した方が最も多く（約32%）、60歳以上と回答していただいた方が全体の約79%でした。

